

千葉市新清掃工場建設及び運営事業 要求水準書 添付資料

添付資料 1 建設場所

添付資料 2 敷地内の平面配置計画及び取り合い点位置図（参考）

- （１）シャフト炉式ガス化溶融方式
- （２）流動床式ガス化溶融方式
- （３）余熱利用施設の管路参考ルート及び参考イメージ図

添付資料 3 地質調査データ

添付資料 4 各階平面計画、立面図、断面図（参考）

- （１）[シャフト炉式ガス化溶融方式]
- （２）[流動床式ガス化溶融方式]

添付資料 5 施設イメージ図（参考）

添付資料 6 処理フロー

- （１）ごみ処理フローシート（シャフト炉式ガス化溶融方式）
- （２）ごみ処理フローシート（流動床式ガス化溶融方式）
- （３）蒸気・復水フローシート
- （４）給水フローシート
- （５）排水処理フローシート

添付資料 7 建築標準仕上表

添付資料 8 建築設備リスト

添付資料 9 見学者への説明用設備（参考）

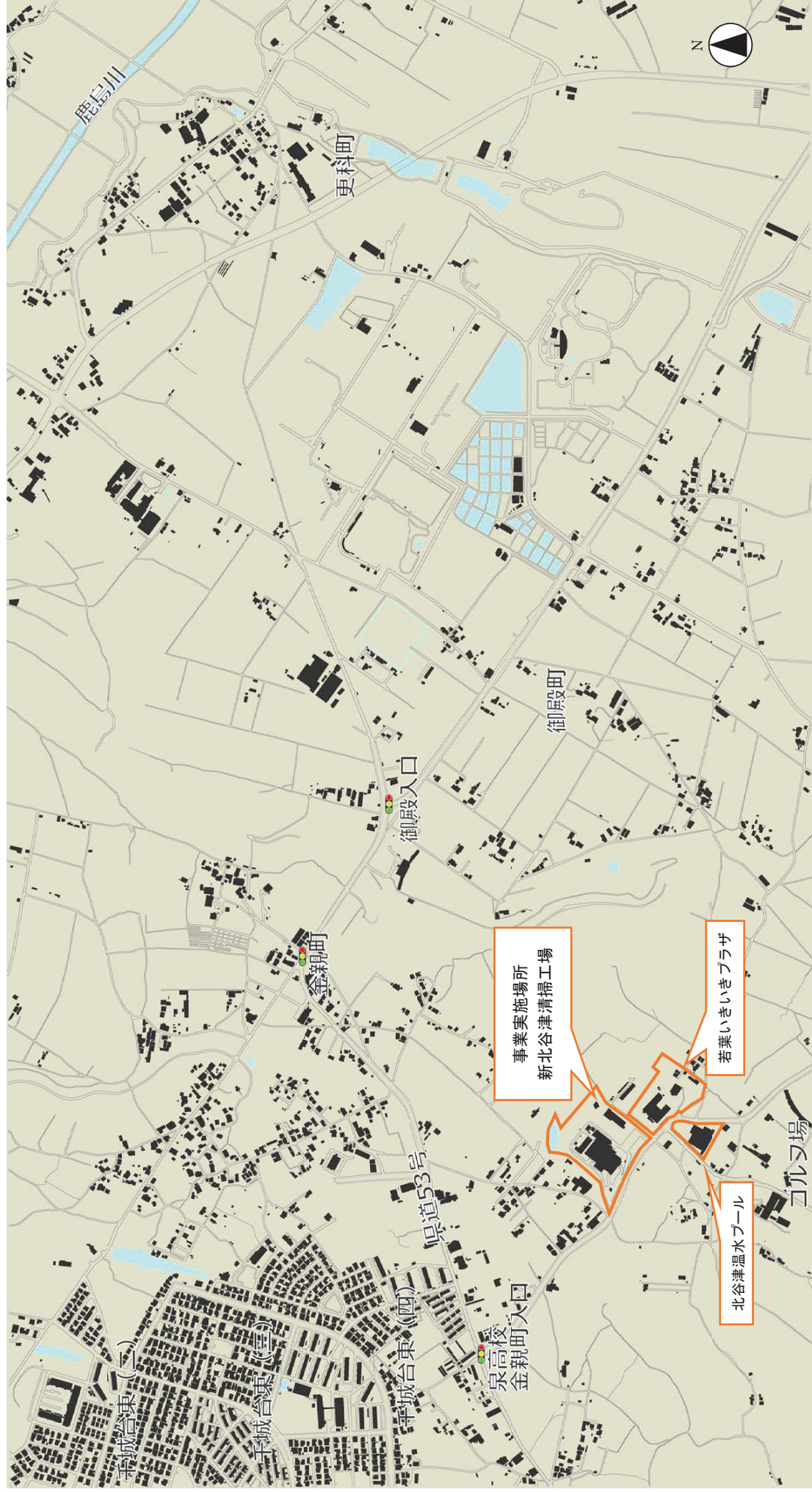
添付資料 10 可燃ごみ等月別搬入見込み量（災害廃棄物除く）

添付資料 11 計画目標（平成38年度）における新清掃工場への想定搬入車両台数

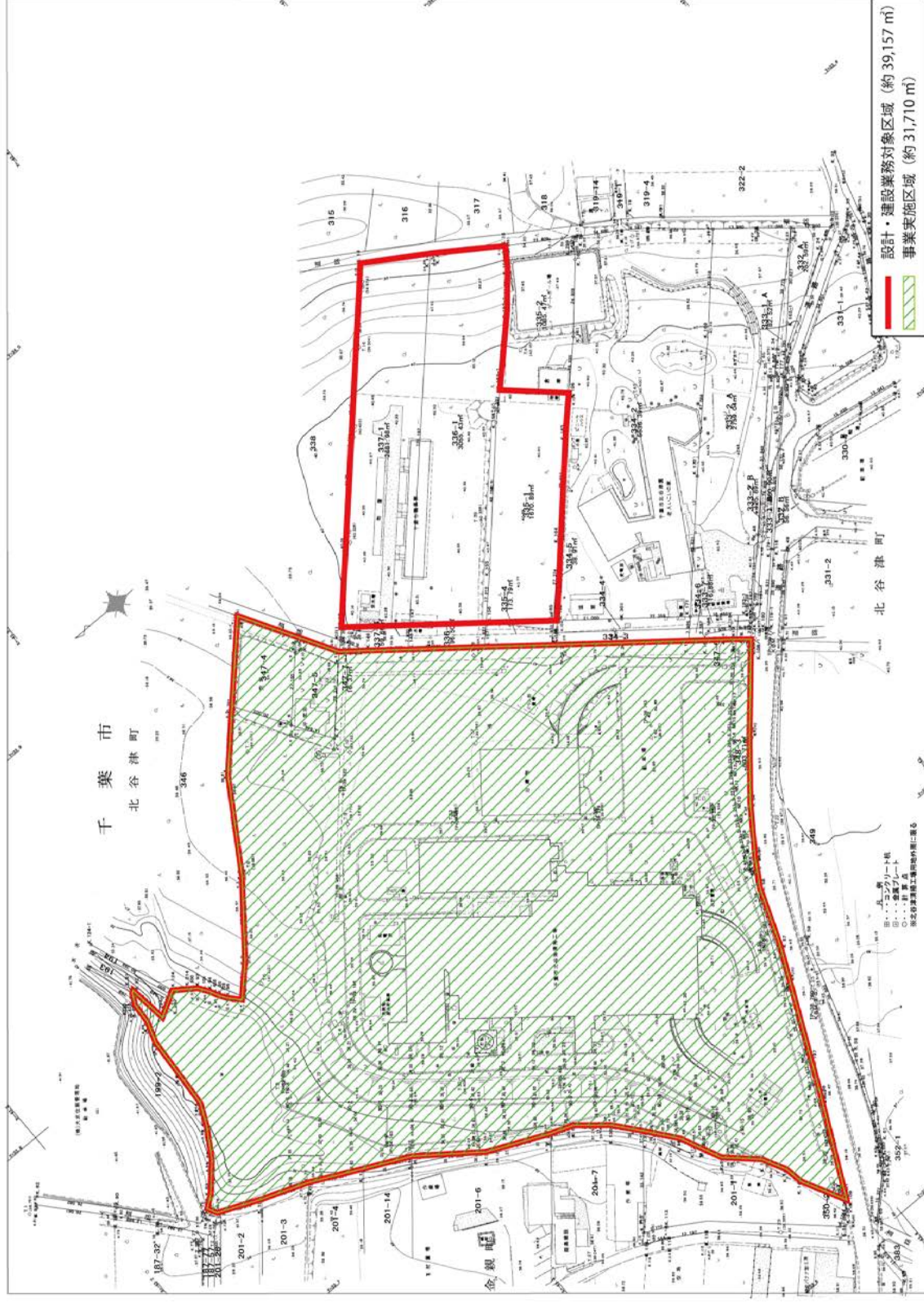
添付資料 12 解体工事

- （１）解体撤去範囲図
- （２）解体工事工程表（参考）
- （３）プラント設備概要
- （４）北谷津清掃工場プラント機器荷重（参考）
- （５）建築数量（参考）
- （６）アスベスト混入物の対象範囲図（参考）
- （７）敷地全体の解体撤去手順（参考）
- （８）北谷津清掃工場解体撤去手順図（参考）
- （９）北谷津清掃工場 場内エアコンリスト
- （10）北谷津清掃工場敷地内建物図面
 - （ア）北谷津清掃工場
 - （イ）北谷津清掃工場煙突
 - （ウ）プラズマ溶融センター
 - （エ）共同住宅
 - （オ）旧焼却施設地下部分
 - （カ）構造関係図
 - （キ）埋設配管

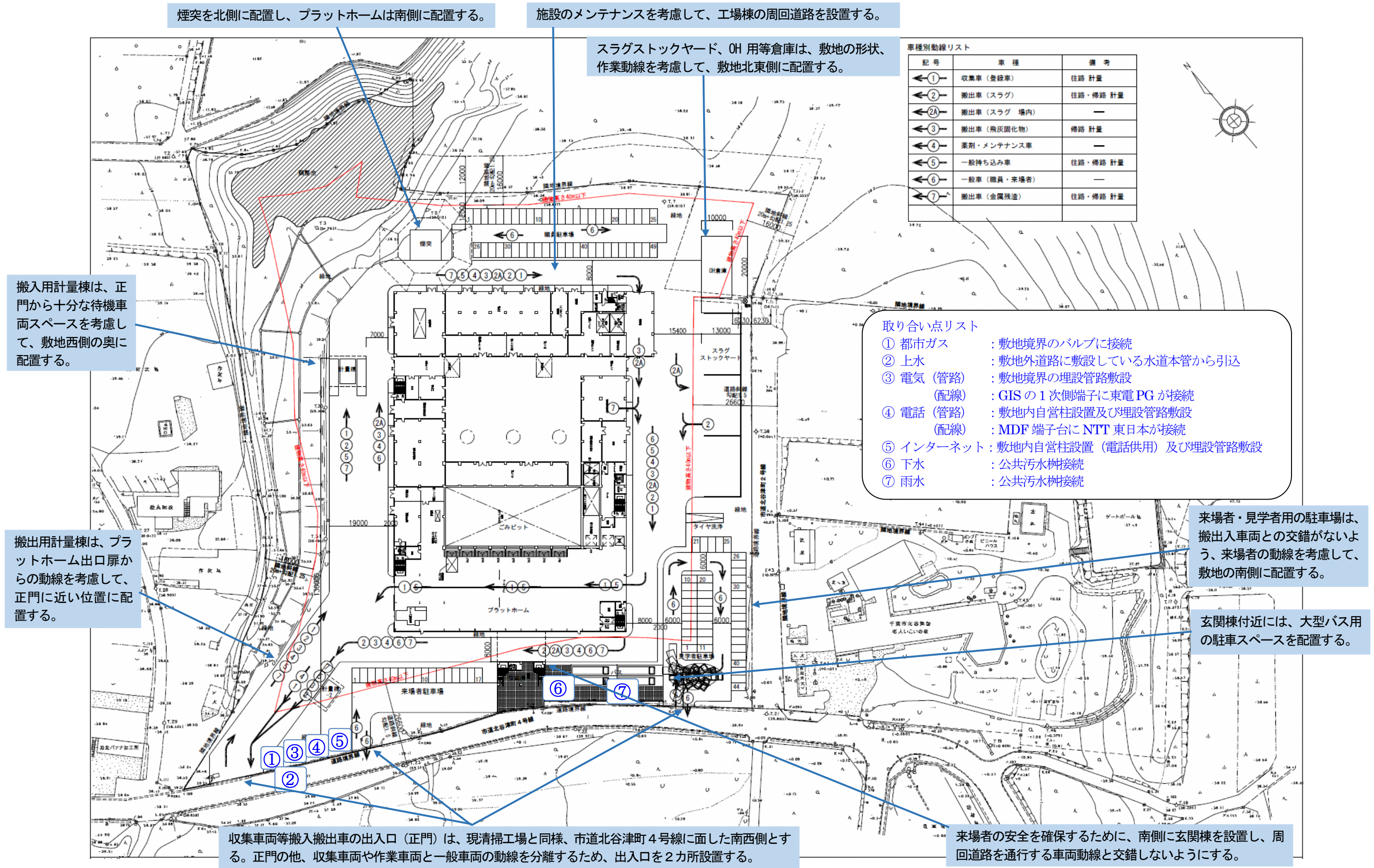
添付資料 1 3 揚水施設の概要及び井戸水質
添付資料 1 4 若葉いきいきプラザへのエネルギー使用量及び温水送水量
添付資料 1 5 北谷津温水プールへの使用蒸気量
添付資料 1 6 北谷津温水プールへの使用電力量
添付資料 1 7 北谷津温水プールへのエネルギー使用量
添付資料 1 8 ごみピット容量及び他所灰ピット容量の設定根拠
添付資料 1 9 テレメータの構成等
添付資料 2 0 他所灰のごみ質
添付資料 2 1 「可燃ごみ＋破碎可燃残渣＋破碎不燃残渣」算出時使用ごみ質分析結果
添付資料 2 2 (1) 電力会社標準設計仕様
添付資料 2 2 (2) 新清掃工場特高化に伴う引き込み線種の選定について（仮）
添付資料 2 3 撤去する電気設備（高圧電力）
添付資料 2 4 月別見学者受入人数実績（新港清掃工場）
添付資料 2 5 過去 3 年分のごみ質測定データ
添付資料 2 6 伐採範囲



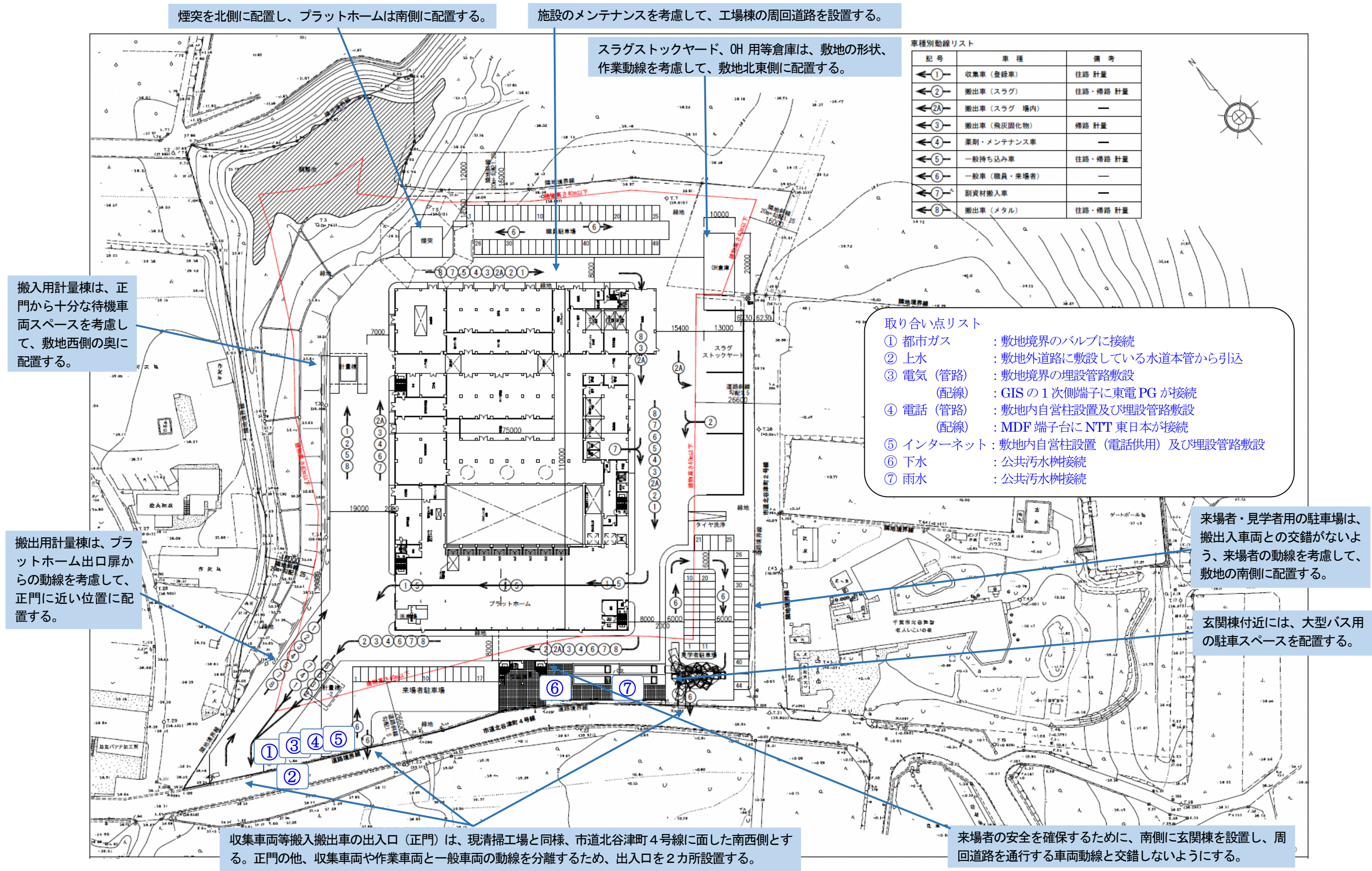
建設場所（事業実施場所）



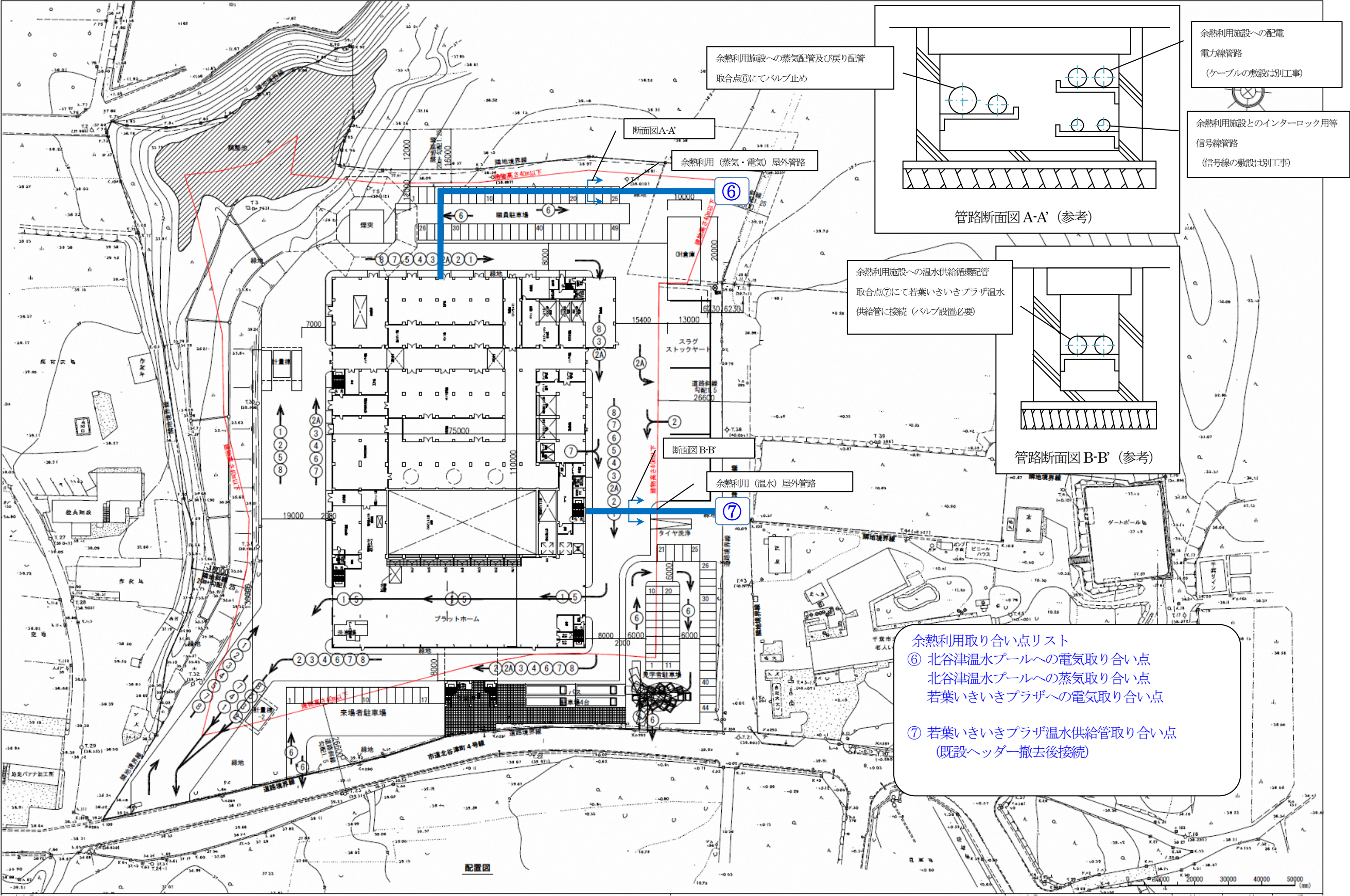
建設場所（事業実施区域）



敷地内の平面配置計画及び取り合い点位置図〔流動床式ガス化溶融方式〕（参考）



敷地内の平面配置計画及び取り合い点位置図 [シャフト式ガス化溶融方式] (参考)



敷地内の余熱利用取り合い点位置図 (参考)

地質調査データ

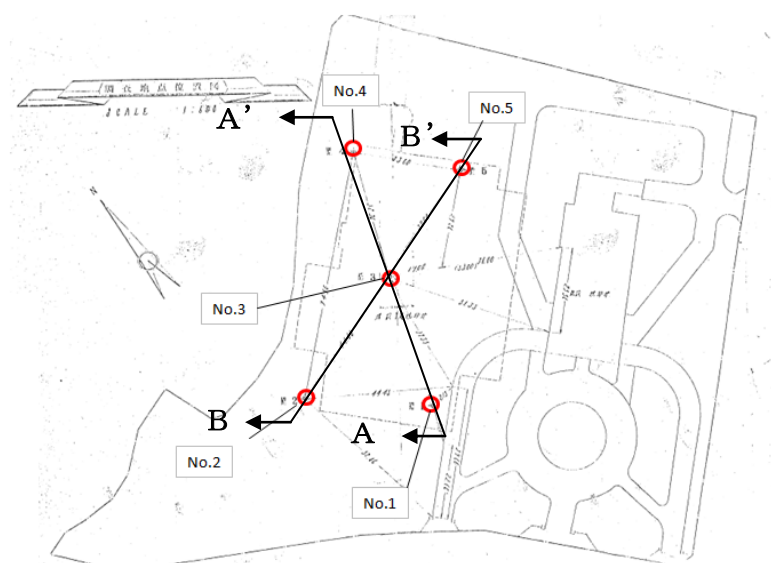
敷地地質層序（現工場）

深 度 (m)					土質名	地質名		起源	
No. 1孔	No. 2孔	No. 3孔	No. 4孔	No. 5孔					
0.45	1.85	—	1.70	0.75	盛土	—		人工	
		0.58		1.65	表土	—		風化	
4.60	4.40	4.05	4.65	4.85	ローム	新期ローム層		箱根中央火口丘 及び古富士火山 主として箱根新 期外輪山	
		5.30	5.85	5.60	粘土	常総粘土層			
6.90	6.25	6.25		8.05	砂質粘土	上 部	成田層	下末吉海進	
8.30	7.00	7.40		6.30	9.30				(粘土質)細砂
				8.05	9.85				砂質粘土
9.05	8.05	10.05		8.90	10.90				(砂質)粘土
				9.30					粘土質細砂
		10.95							粘土
11.55	9.20	10.85		11.20	11.62				粘土質細砂
20.38	20.23	20.45	20.45	15.00	細砂	下 部			
				21.50	粘土質細砂				
				30.42	細砂				
7.45	7.50	7.30	7.90	7.70	地下水位		G L — m		

は、地層の不整合関係を示す。

敷地地質層序（旧工場）

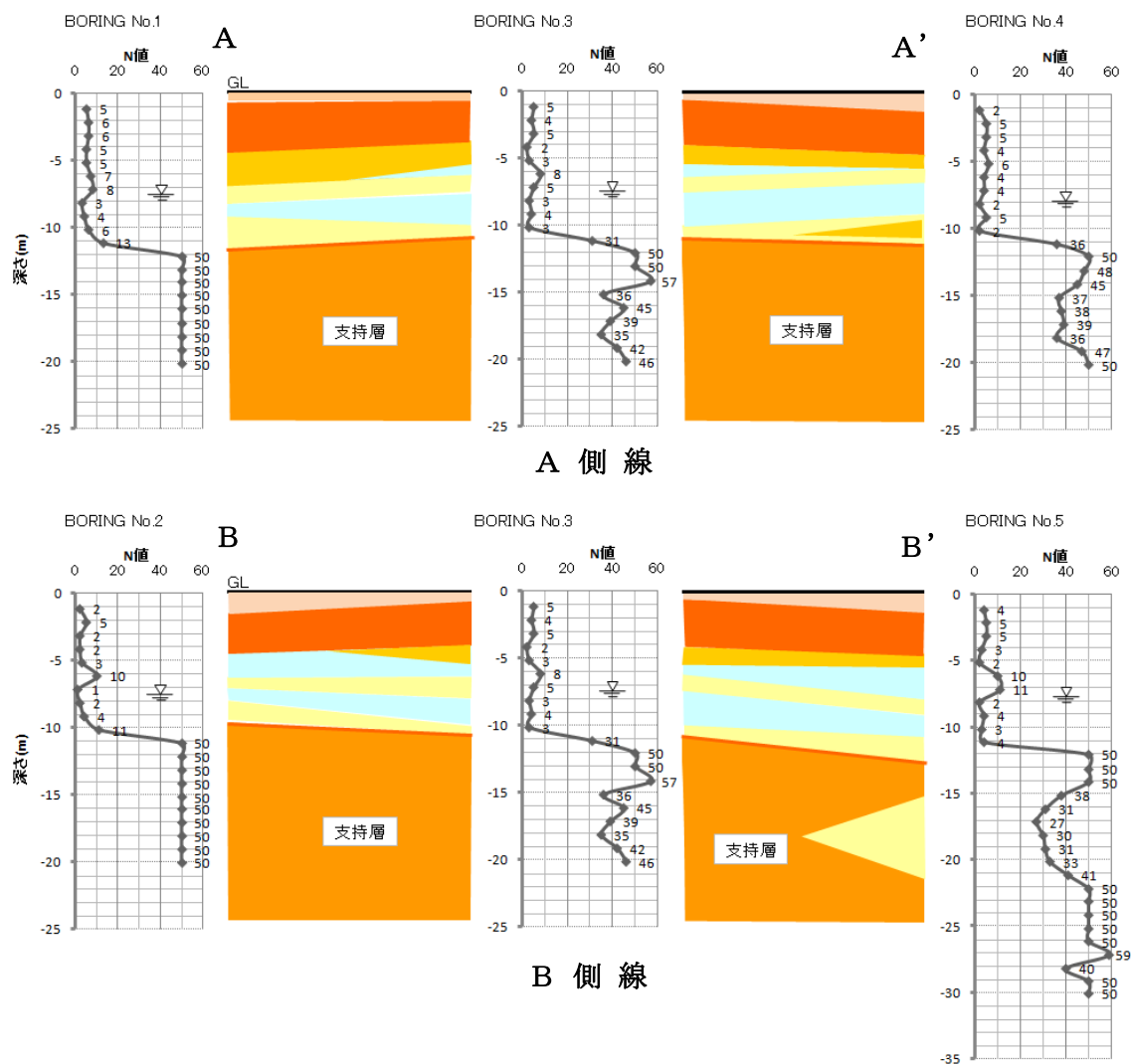
深 度 (m)				土質名	地質名		起源
No. 1孔	No. 2孔	No. 3孔	No. 4孔				
1. 20	1. 40	1. 20	1. 10	表土	—		風化
3. 80	4. 00	4. 20	4. 25	関東ローム	新期ローム層		箱根中央火口丘 及び古富士火山
4. 70	5. 10	5. 80	5. 95	シルト質粘土	常総粘土層		主として箱根新 期外輪山
	5. 60			粘土			
6. 90	6. 60	6. 70	6. 85	砂質粘土	上 部	成田層	下末吉海進
		7. 20	7. 20	シルト質砂			
8. 70	8. 40	9. 00	9. 10	細砂			
9. 20				砂質ローム			
	9. 10			粘土質ローム			
12. 60	10. 30	10. 10	12. 70	細砂			
	11. 25	11. 40		シルト質砂			
20. 45	13. 45	20. 45	20. 45	細砂	下 部		
	16. 30			中砂			
	20. 45			細砂			
柱状図では「なし」と記載				地下水位 G L — m			



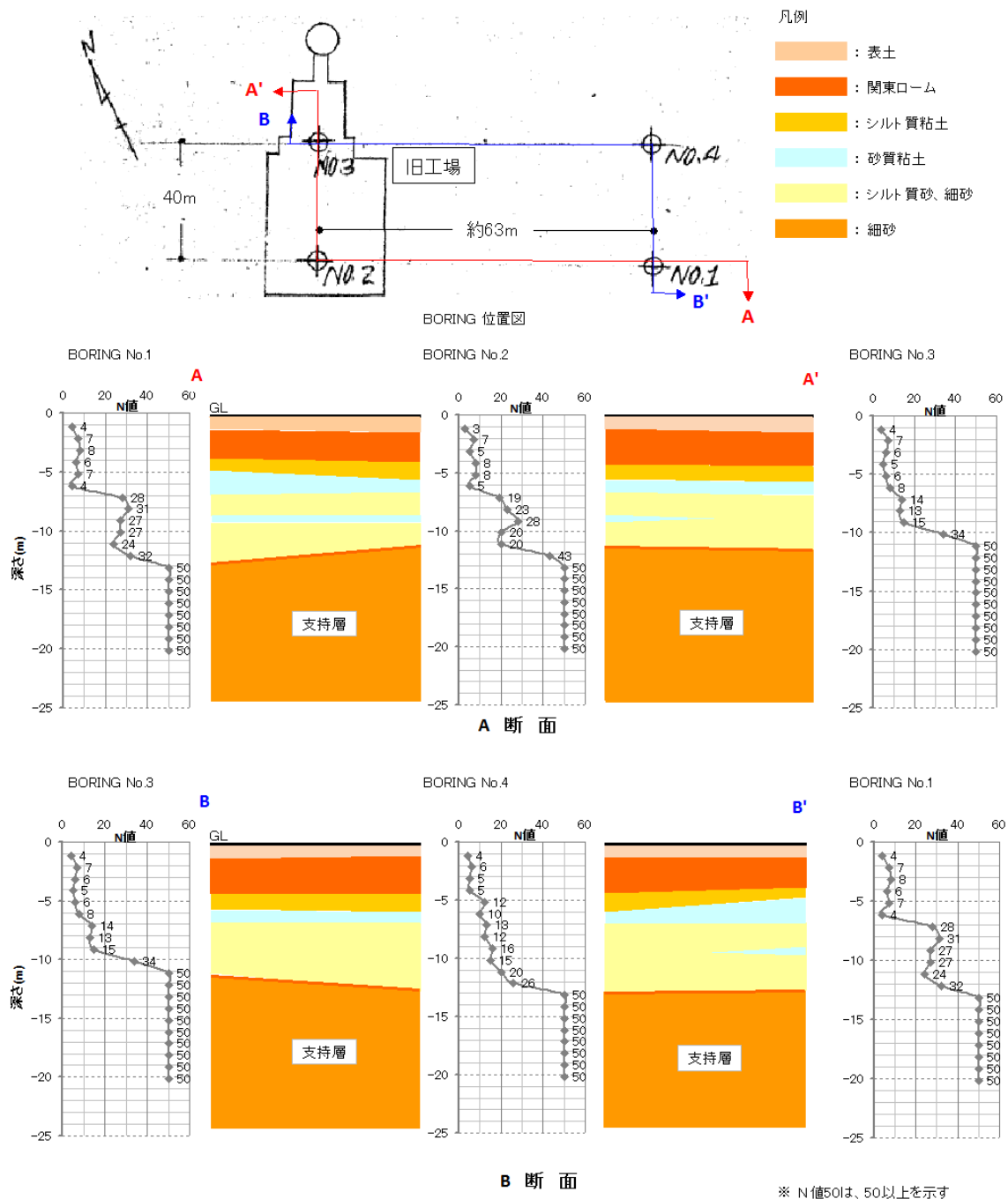
凡例

- : 表土・盛土
- : ローム
- : 粘土
- : 砂質粘土
- : 粘土質細砂
- : 細砂

BORING 位置図



地質想定断面図（現工場）

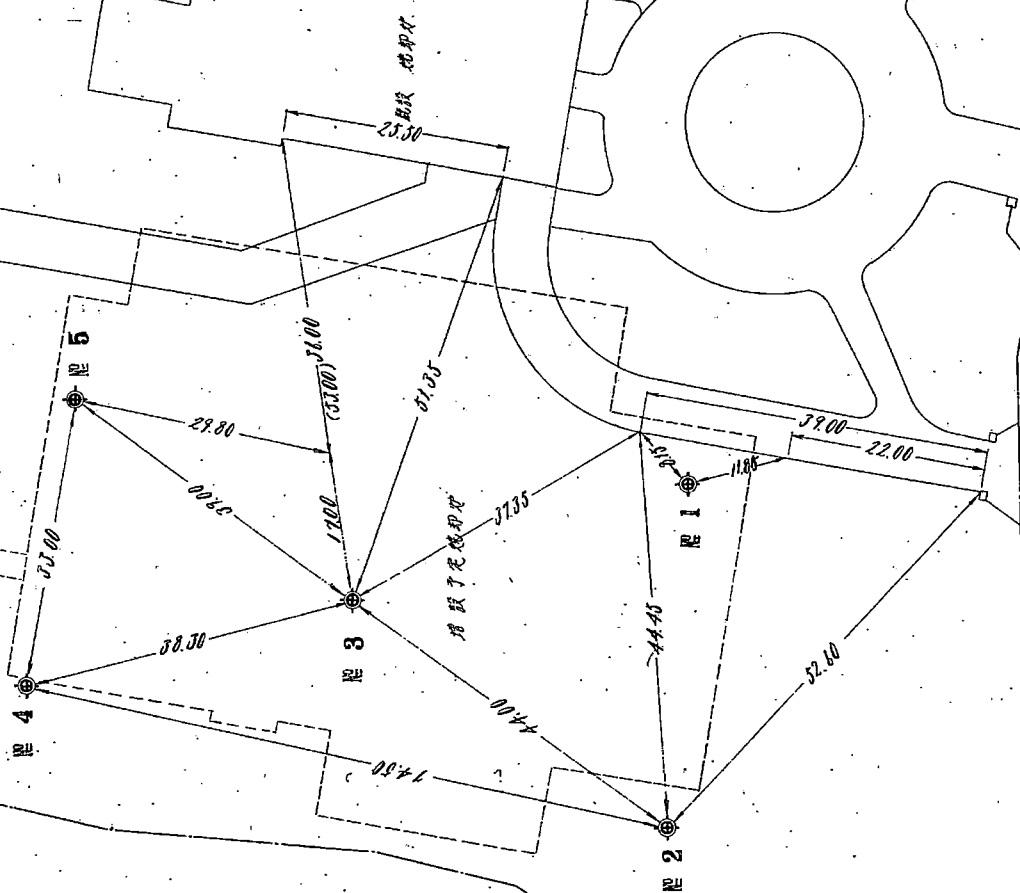
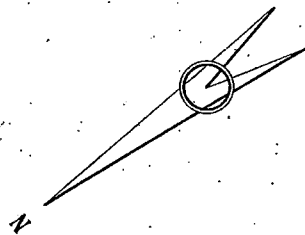


地質想定断面図（旧工場）

現工場

調査地点位置図

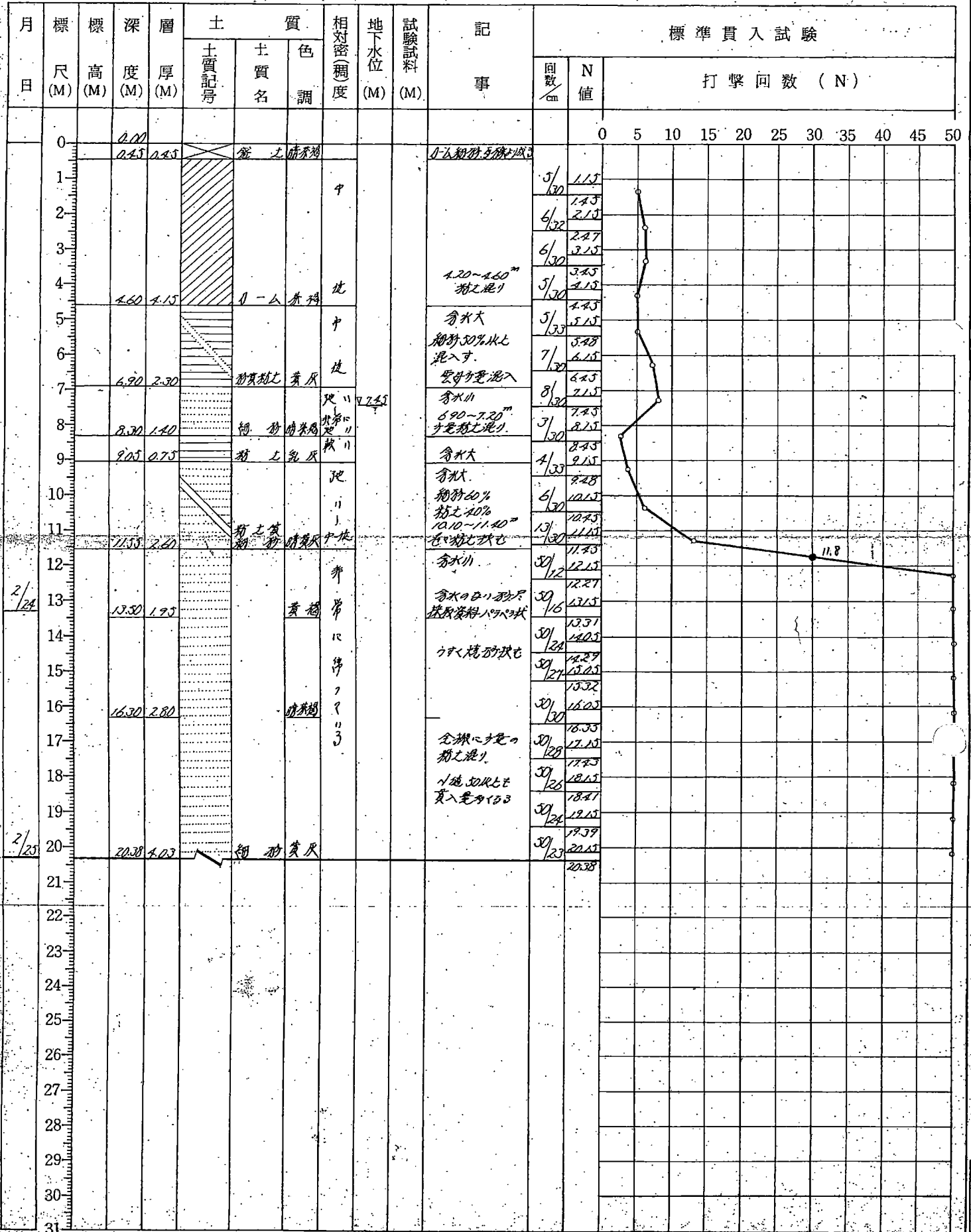
SCALE 1:600



土質柱状断面図

件名	千葉市北谷津清掃工増設に伴う地質調査業務委託				
調査場所	千葉市北谷津町		No.	/ 孔	
試錐機名	S. R. L. - (R)	試錐深度	20 M 39	着手	2月24日
試料採取方法	レイモンド・サンプラー	試錐孔径	65 M.M.	完成	2月25日

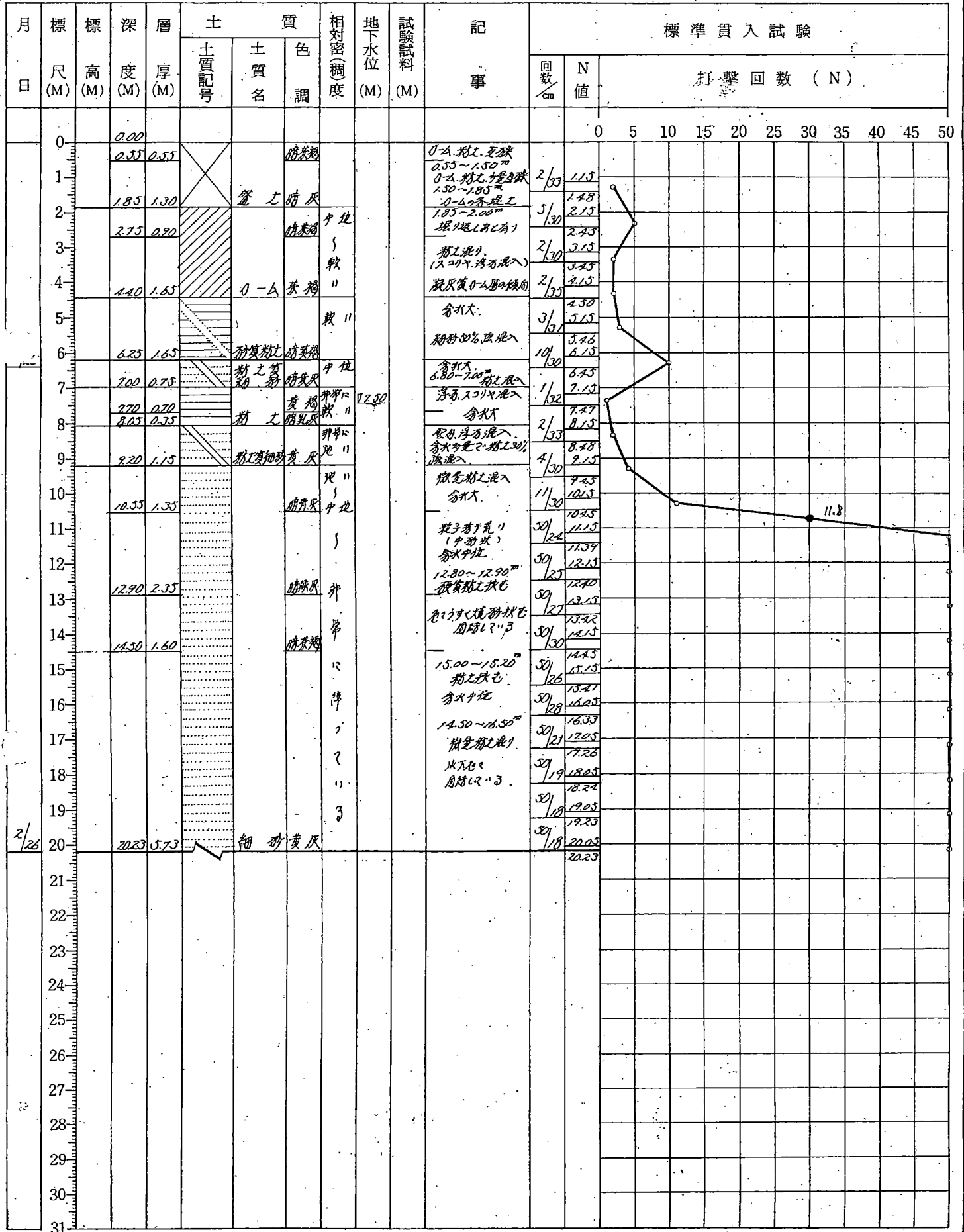
調査技術員	杉山十三夫
担当	千葉市北谷津株式会社
調査番号	50-061



土質柱状断面図

件名	千葉市北谷津清掃工場増築に伴う地質調査業務委託				
調査場所	千葉市北谷津町				Na. 2 孔
試錐機名	S. R. L. - 100	試錐深度	20 M. 23	着手	2 月 25 日
試料採取方法	レイモンド・サンプラー	試錐孔径	65 M.M.	完成	2 月 26 日

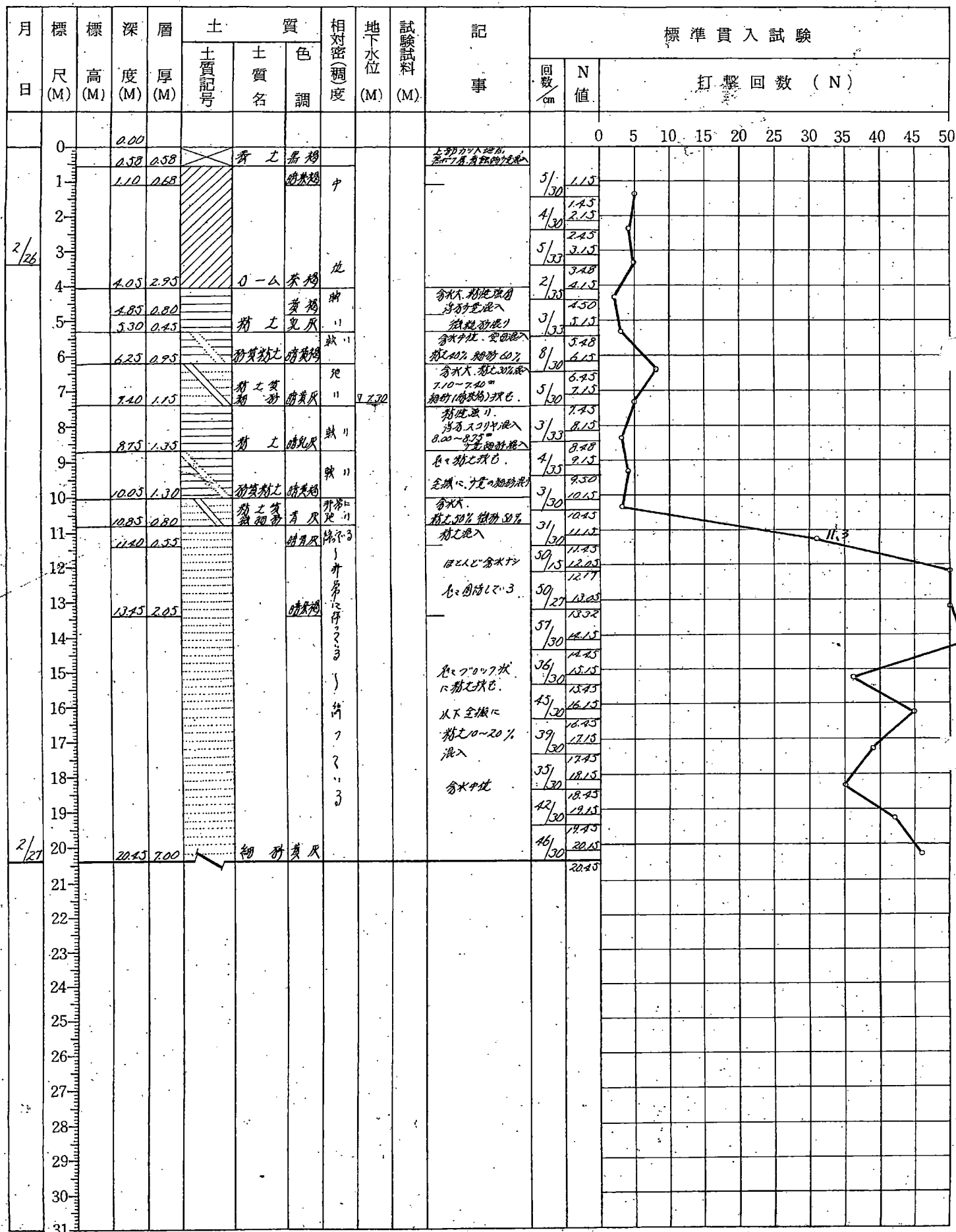
調査技術員	杉山十三夫
担当	明洋建設株式会社
調査番号	30-061



土質柱状断面図

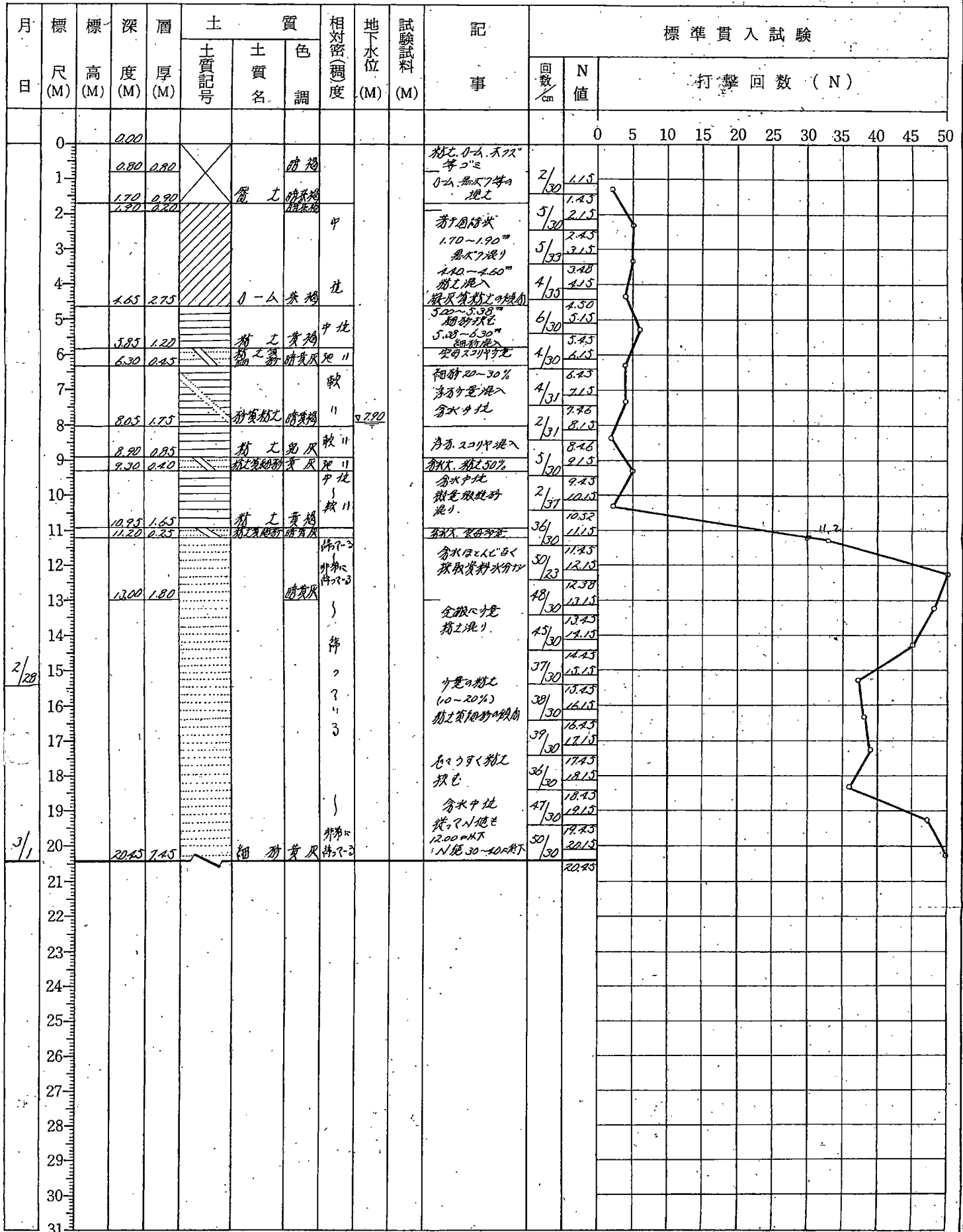
件名	千葉市北谷津清掃工場増設に伴う地質調査業務委託				
調査場所	千葉市北谷津町		No.	J 孔	
試錐機名	S. R. L. - 100	試錐深度	20 M. 45	着手	2月25日
試料採取方法	レイモンド・サンブラー	試錐孔径	65 M.M.	完成	2月27日

調査技術員	杉山十三夫
担当	株式会社
調査番号	30-061



土質柱狀断面図

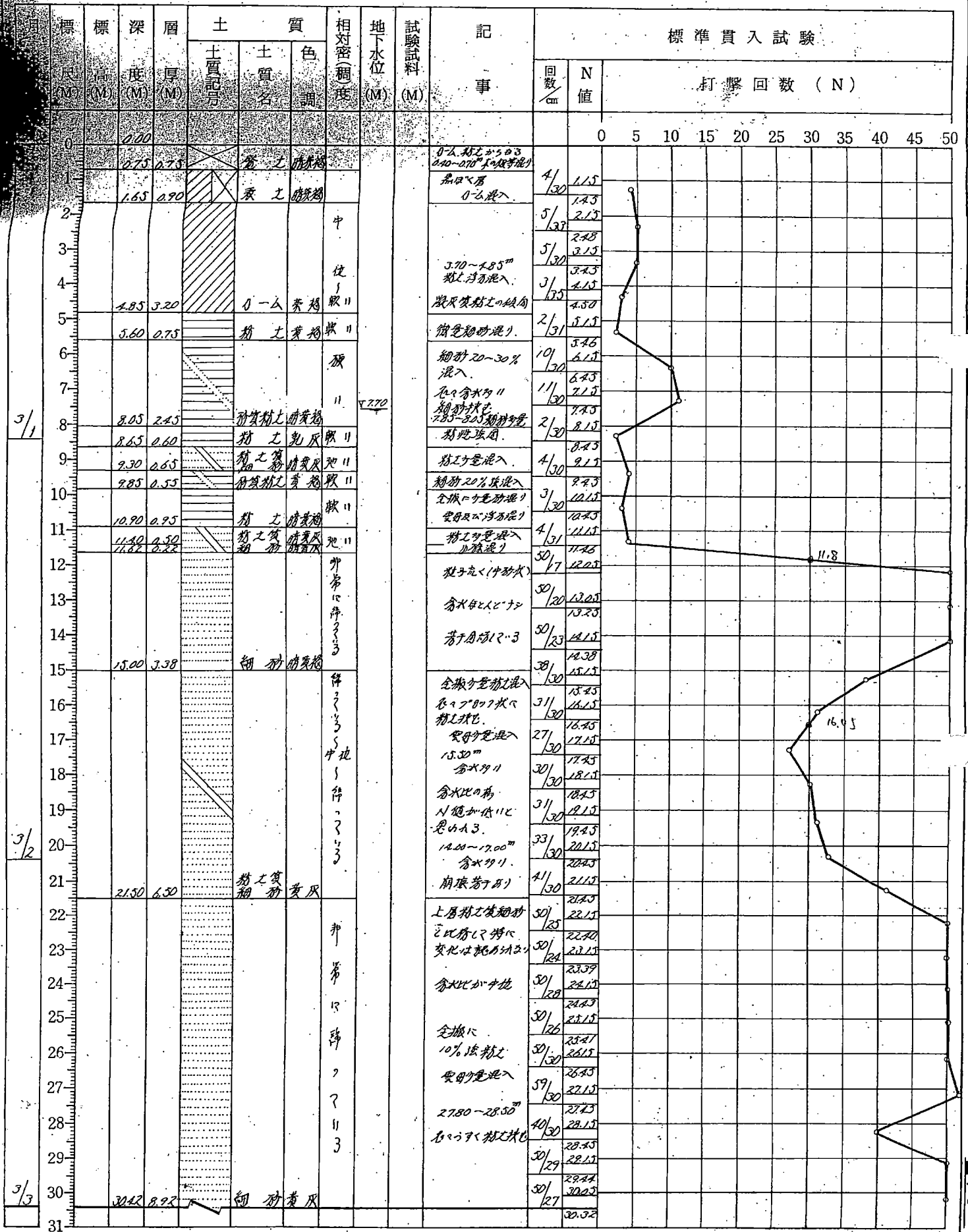
調査技術員	杉山十三夫
担当	調査技術係長
調査番号	10-061

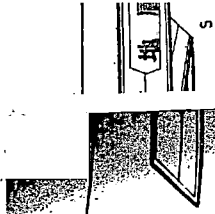


土質柱状断面図

件名	千葉市北谷津清掃工場増設に伴う地質調査業務委託				
調査場所	千葉市北谷津町				Na J 丸
試錐機名	S. R. L. - 100	試錐深度	30 M 42	着手	3 月 1 日
試料採取方法	レイモンド・サンプラー	試錐口径	65 M.M.	完成	3 月 2 日

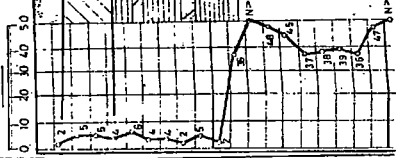
調査技術員	山十三 夫
担当	ワルニ技術株式会社
調査番号	50-061





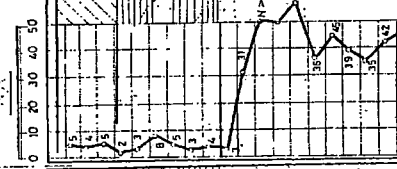
BORING No. 4

N₆₀



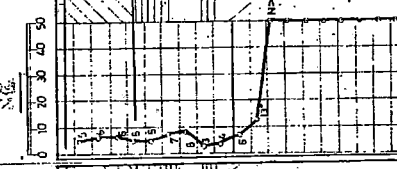
BORING No. 3

N₆₀



BORING No. 1

N₆₀



標高 (m)

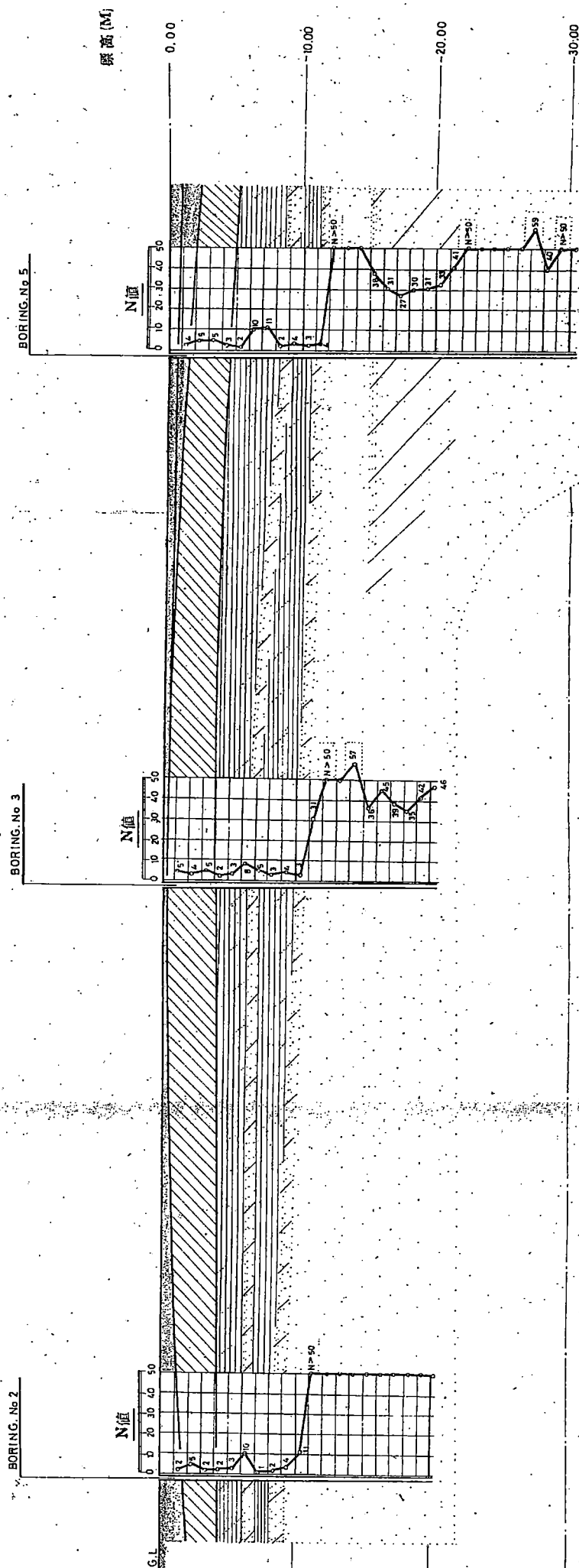
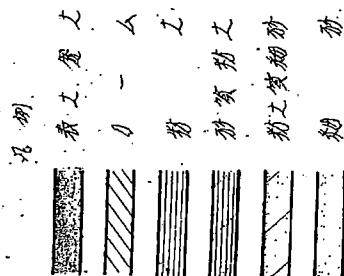
0.00

-10.00

-20.00

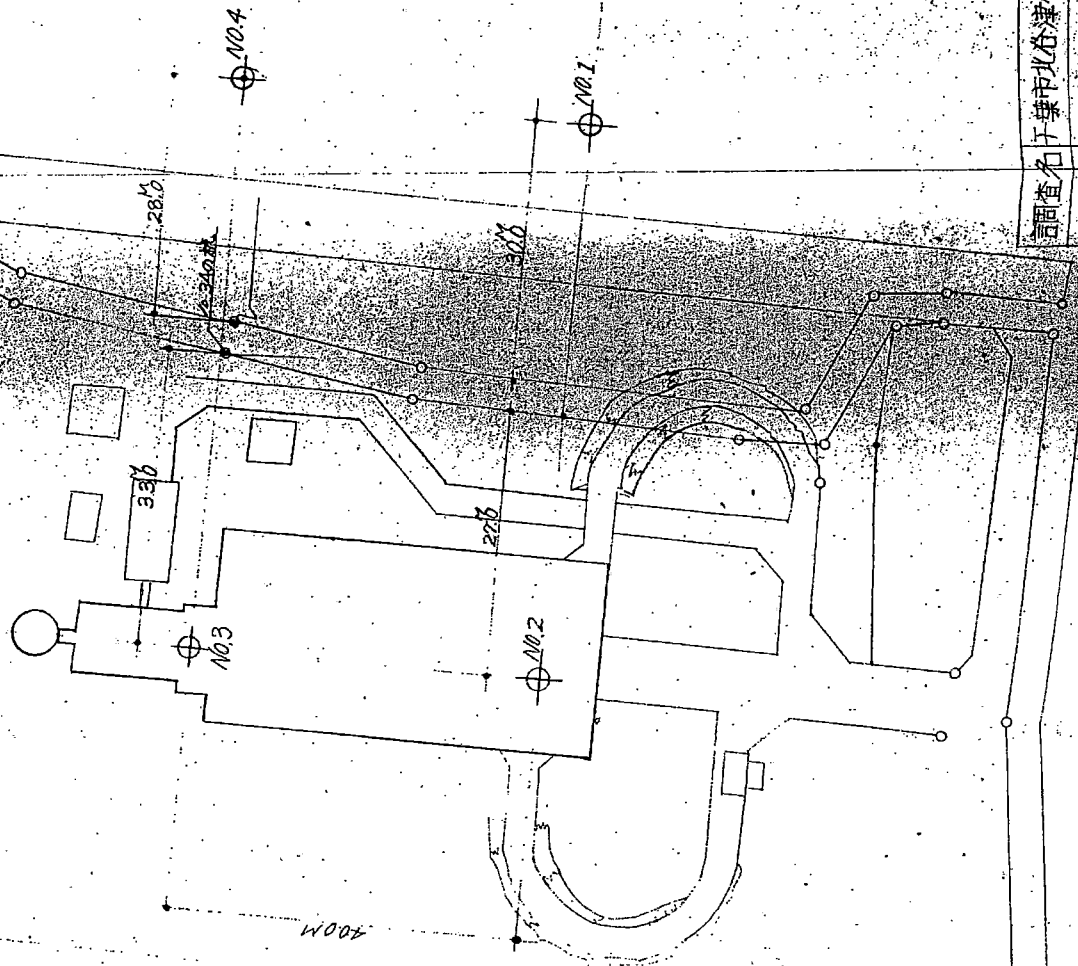
-30.00

S C A L E : 3 0 0



旧工場

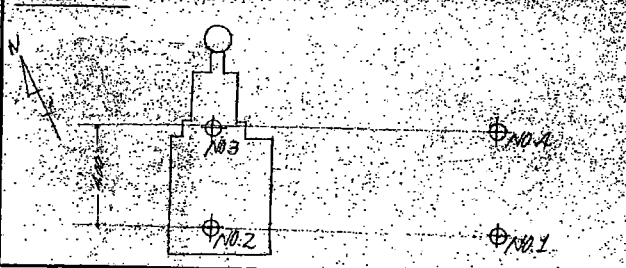
18



調査名	千葉市北谷津歴史民俗資料館
調査地区	千葉市北谷津地区
縮尺	1/600

株式会社 トーヨー基礎調査研究所

標高	B.M	M	孔内水位	G.E- 45	M
----	-----	---	------	---------	---

[illegible]

土質柱状図

調査名 千葉市北谷津地区の建設工事
2000年度調査

調査地名 千葉市北谷津

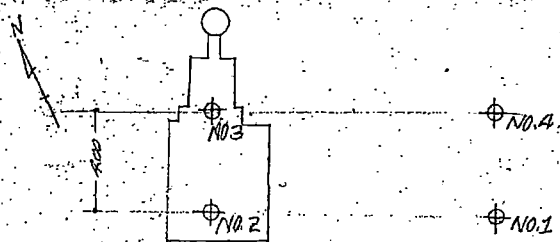
ボーリング工法 ローター式コアボーリング

調査年月日 昭和42年3月1日～3月4日

調査担当者 行徳統一

標高 B.M M 孔内水位 G.L. 13.1 M

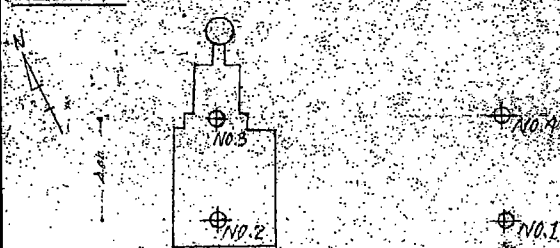
調査位置図



標高 (M)	深度 (M)	層厚 (M)	断面記号	土質名	色	記事	コン テン シ ス	相 対 密 度	標準貫入試験										サン プリ ング			
									深打 度 撃 (M)	N 回 数	10cm 毎 打撃回数			打 撃 回 数 N 値								
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40		50	60	70

6.60						木根混入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
------	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

標高 B.M. M 孔内水位 G.L. - 100 M

[illegible]

調查地名 子葉市北谷津

ボーリング工法 ロータリー式コアボーリング

No 4

調査年月日 昭和42年3月8日～3月10日

調査担当者 行徳 純一

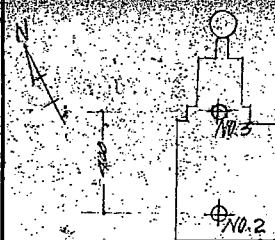
糖膏

B.M.

M

孔内水位

GL-516



④

④

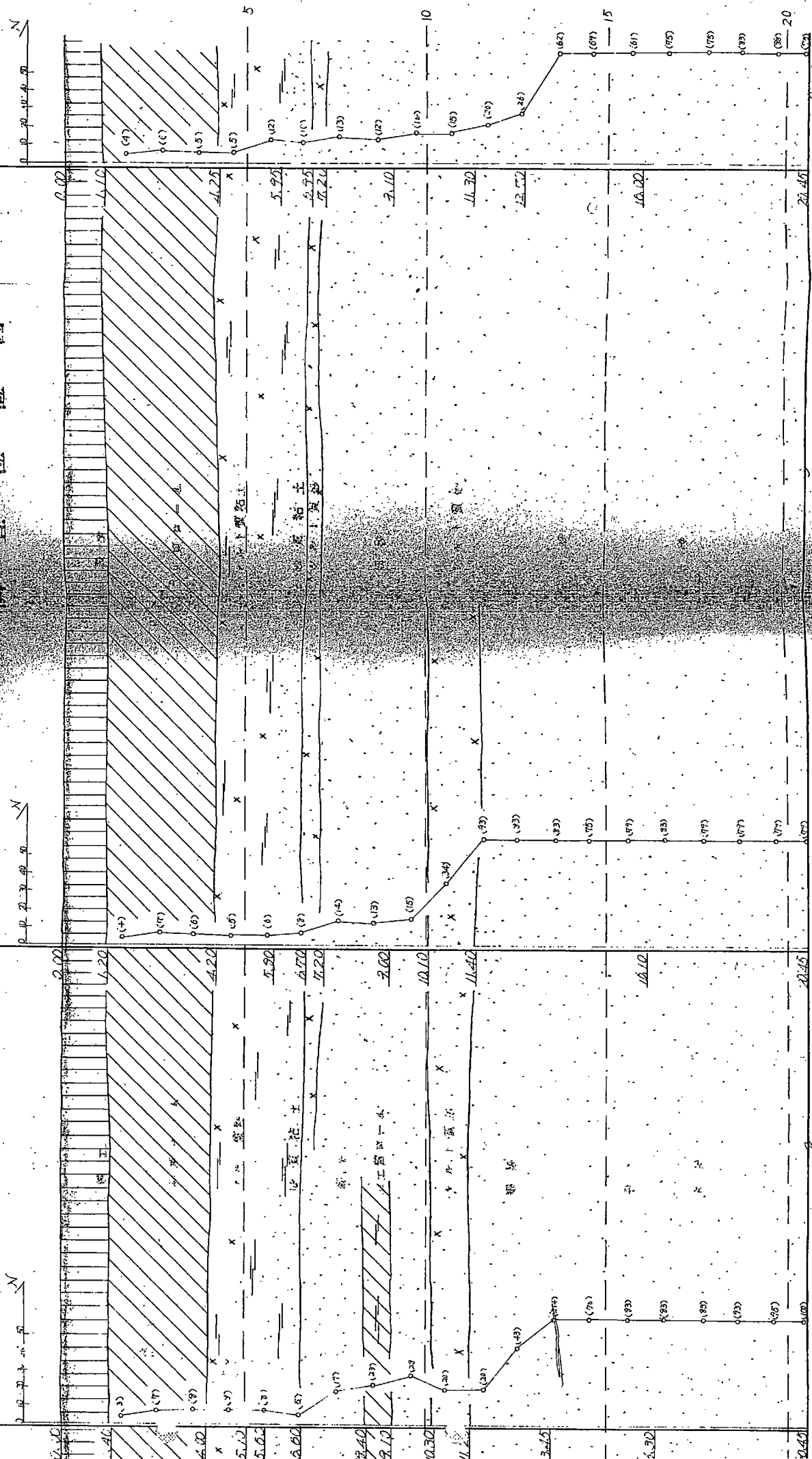
[illegible]

No.2

No.3

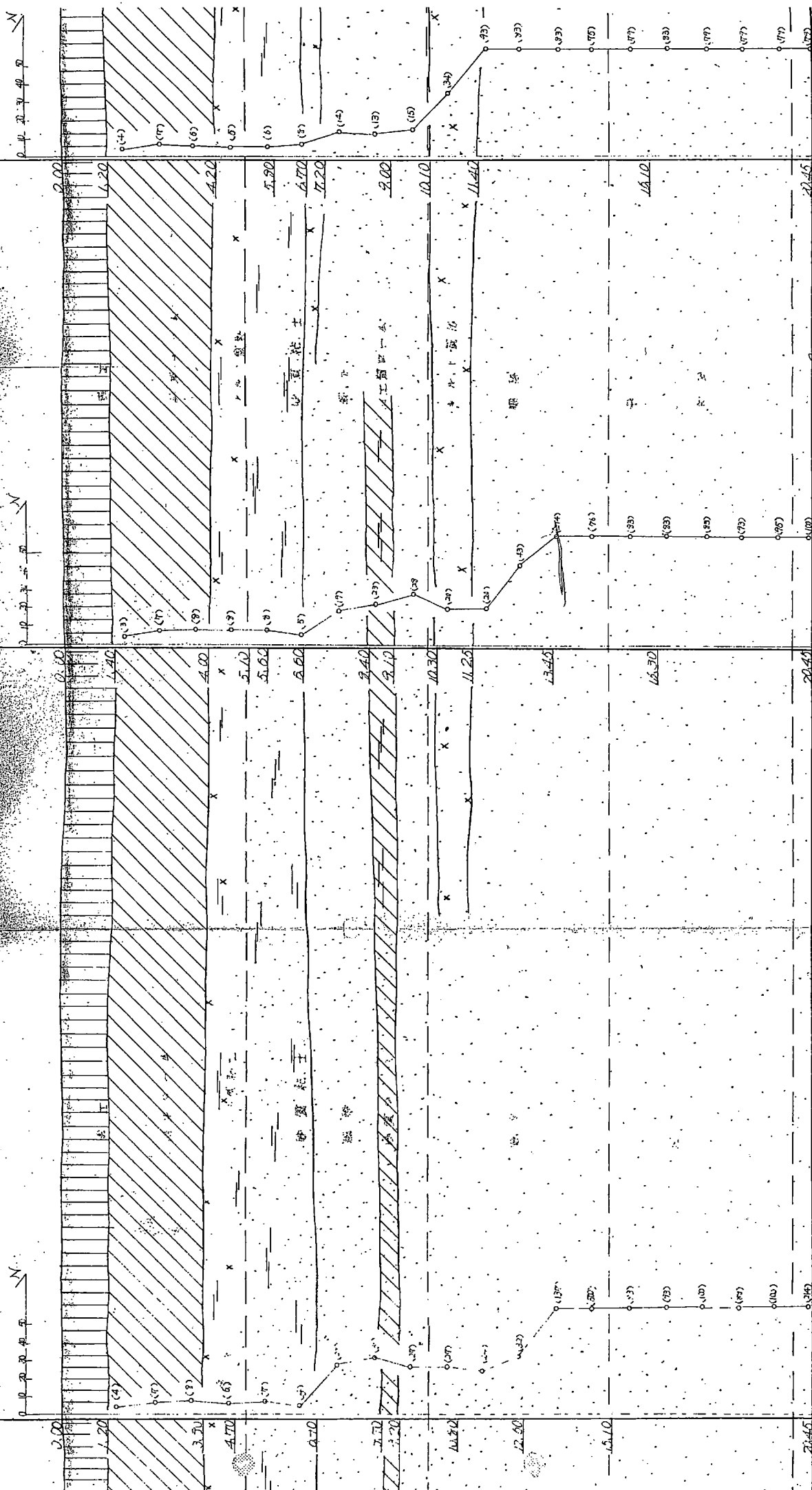
No.4

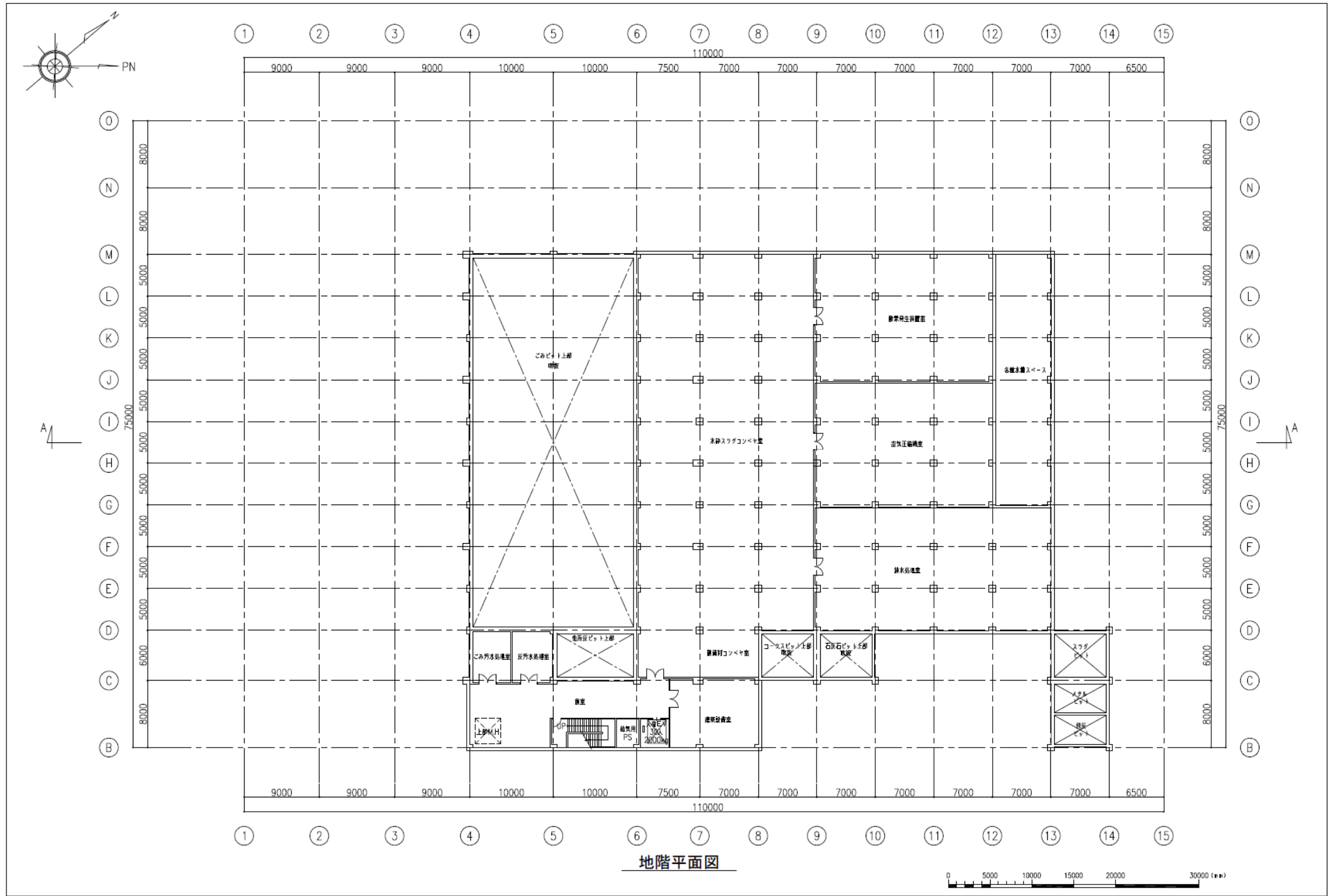
調查位置圖



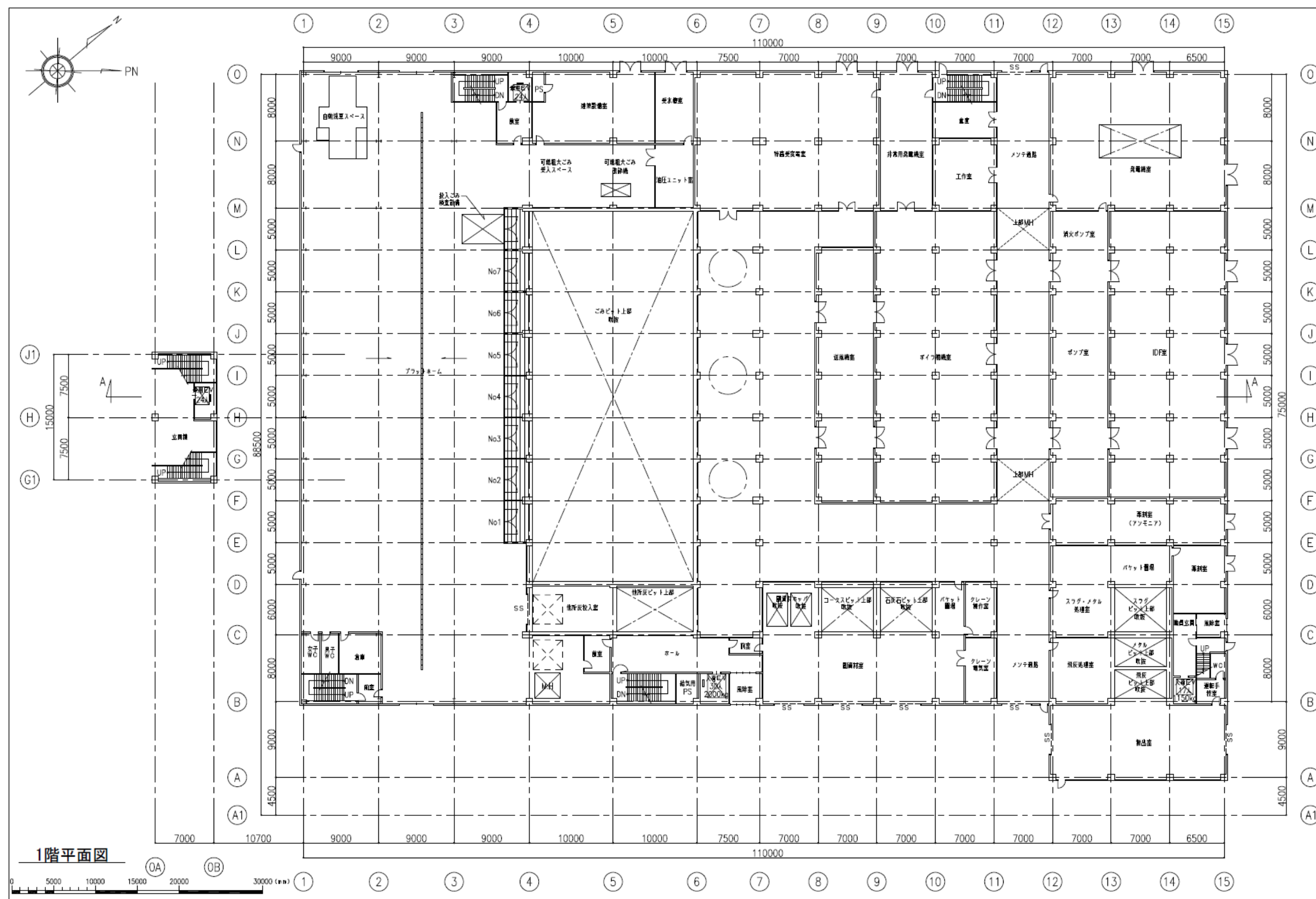
No. 2

No. 3

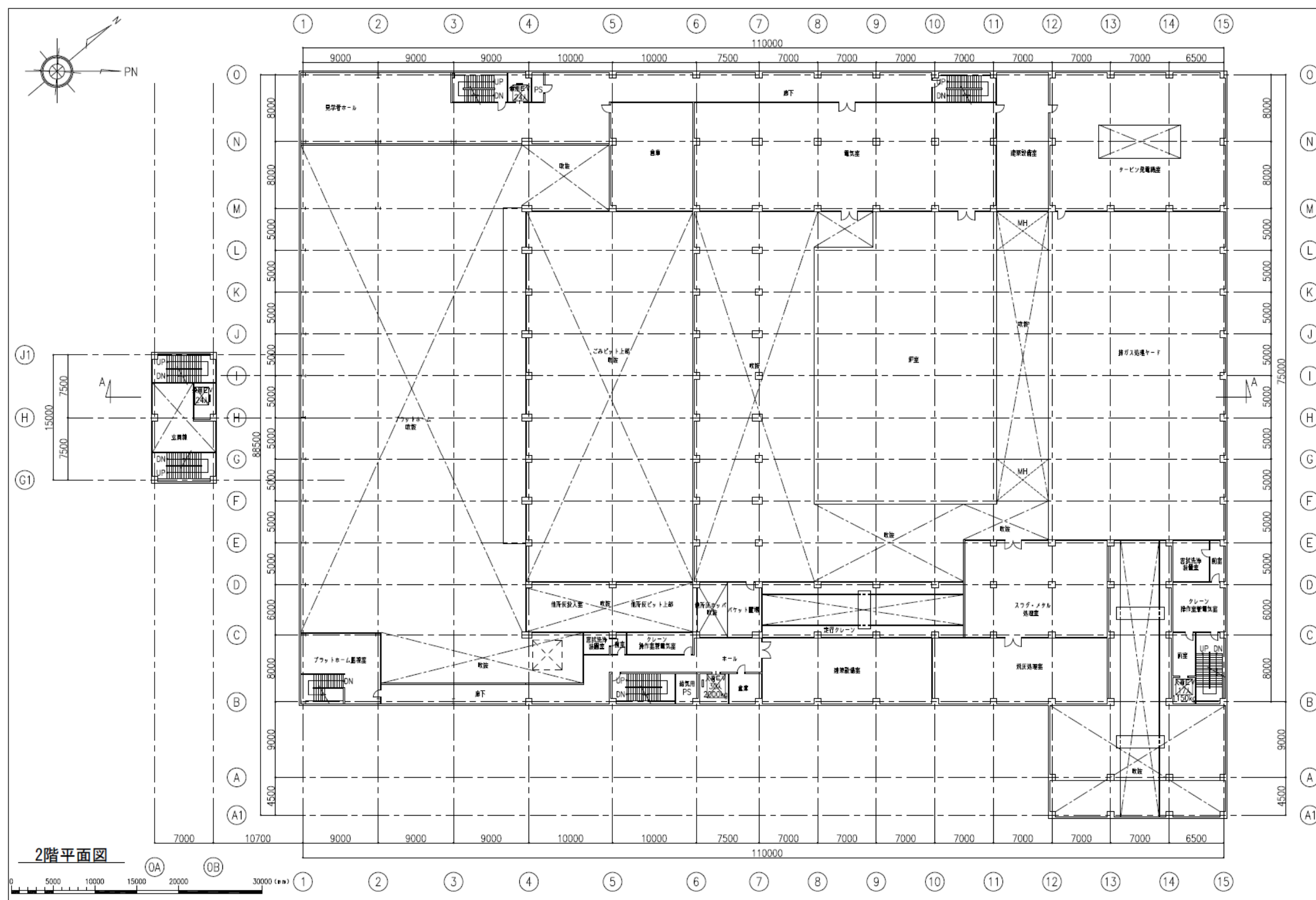




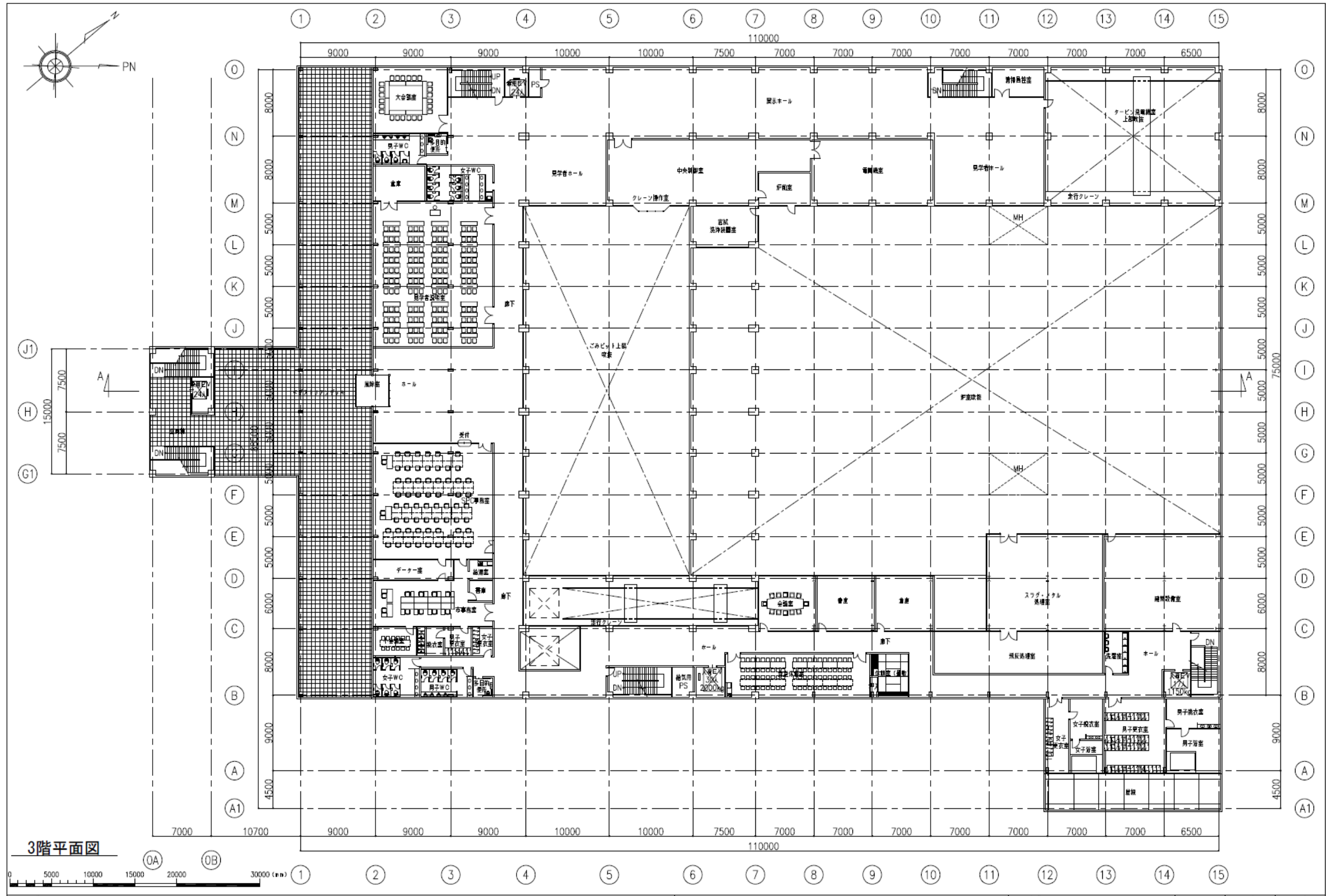
各階平面計画 [シャフト炉式ガス化熔融方式] (参考)

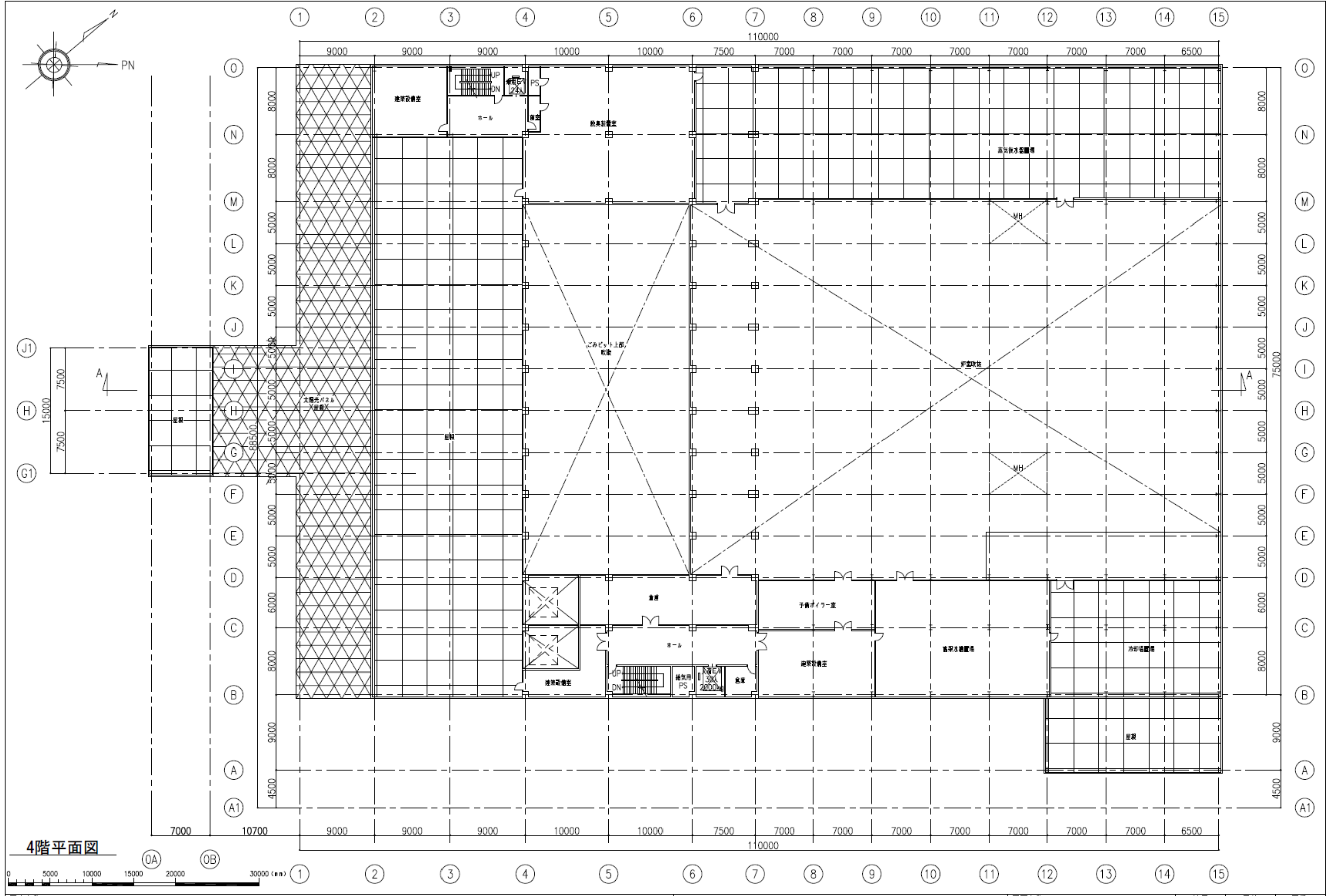


各階平面計画〔シャフト炉式ガス化溶融方式〕（参考）

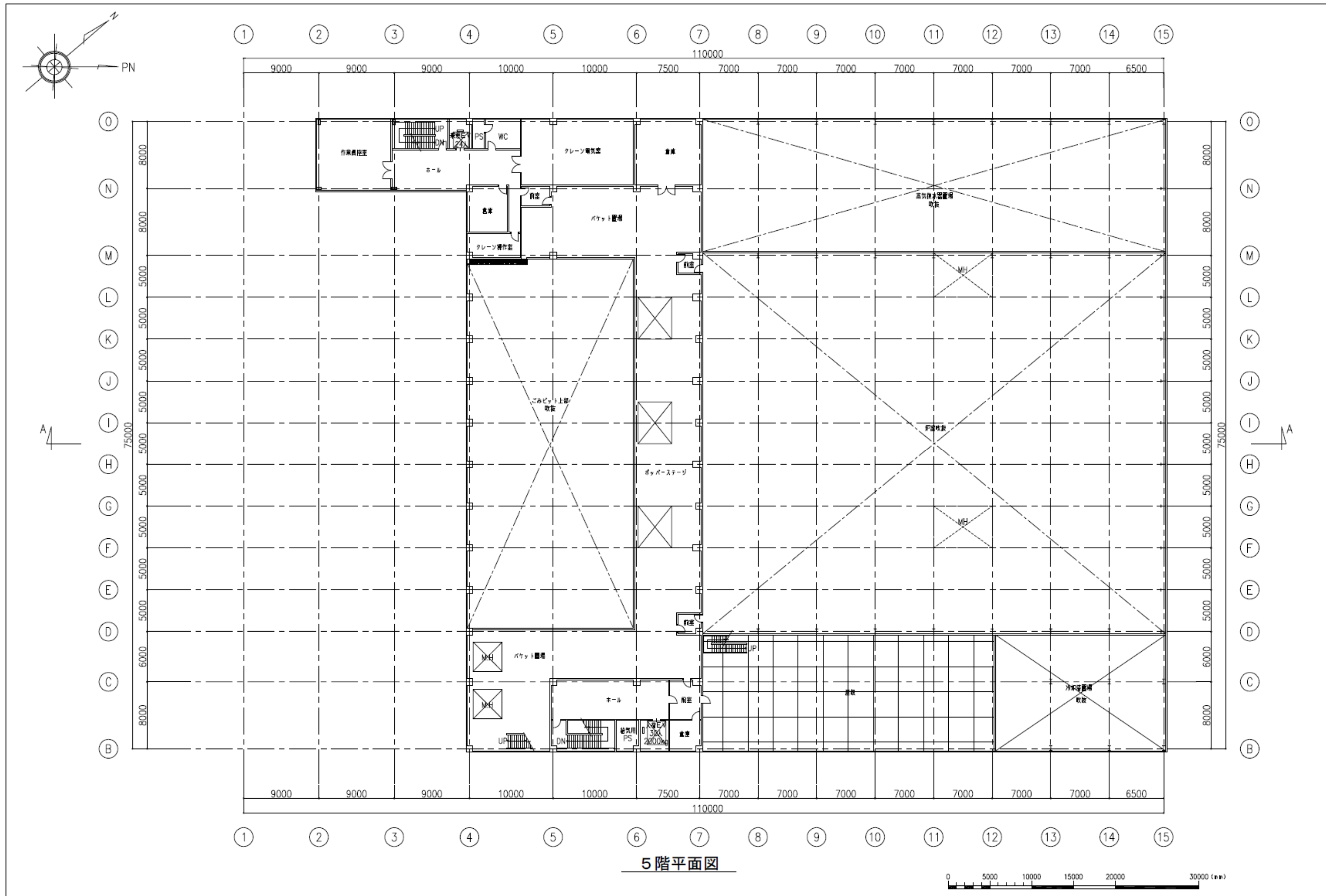


各階平面計画 [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)

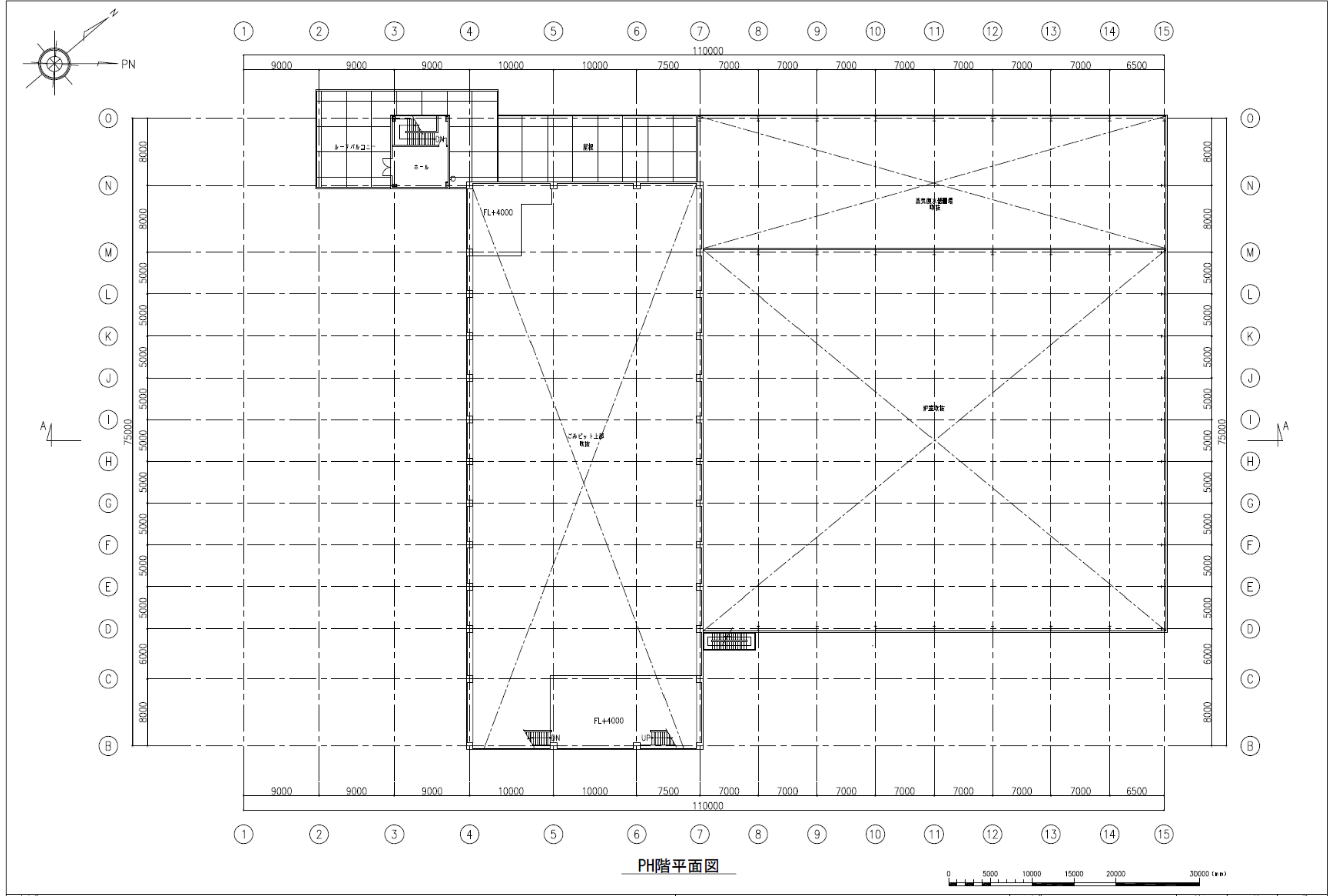




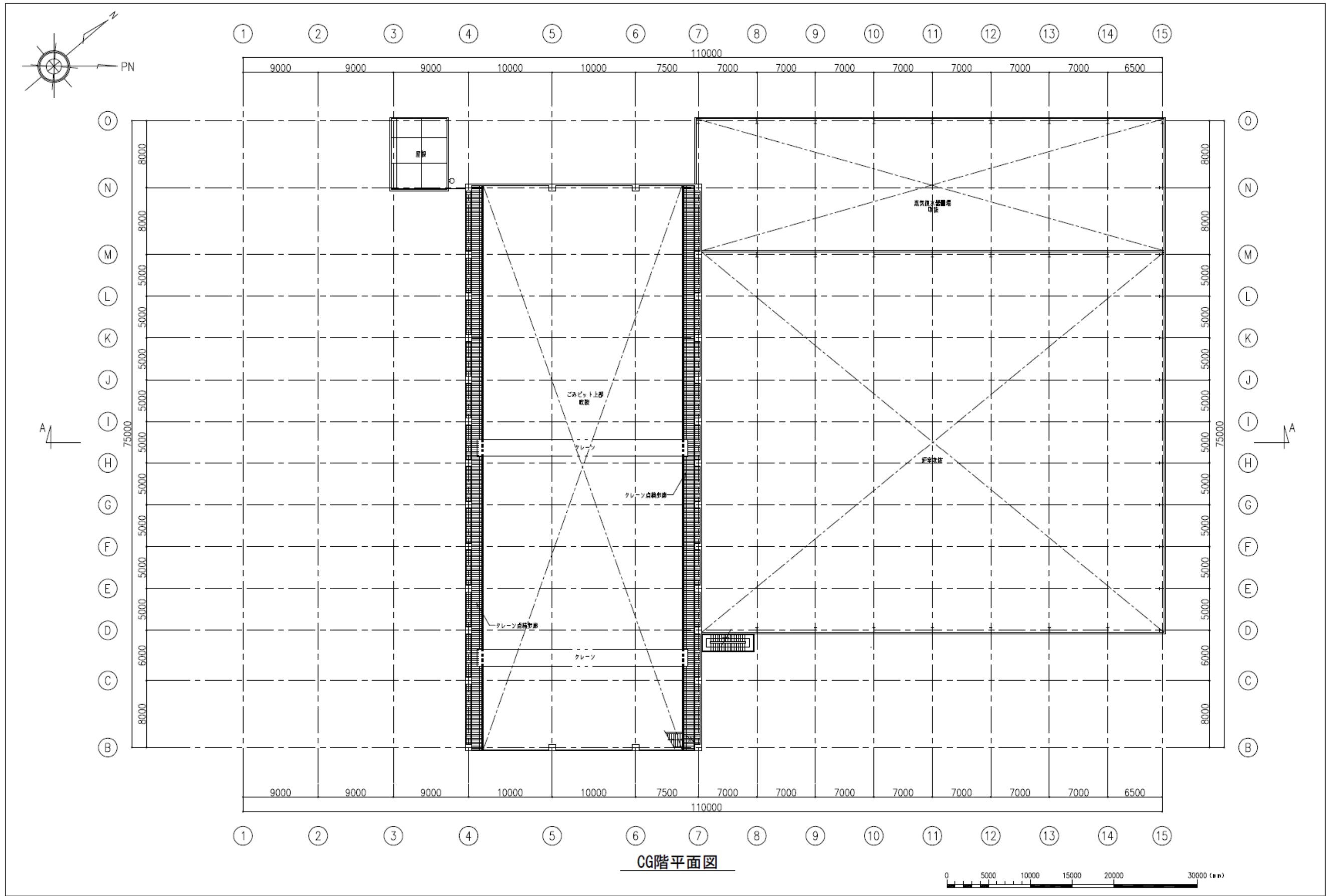
各階平面計画 [シャフト炉式ガス化熔融方式] (参考)



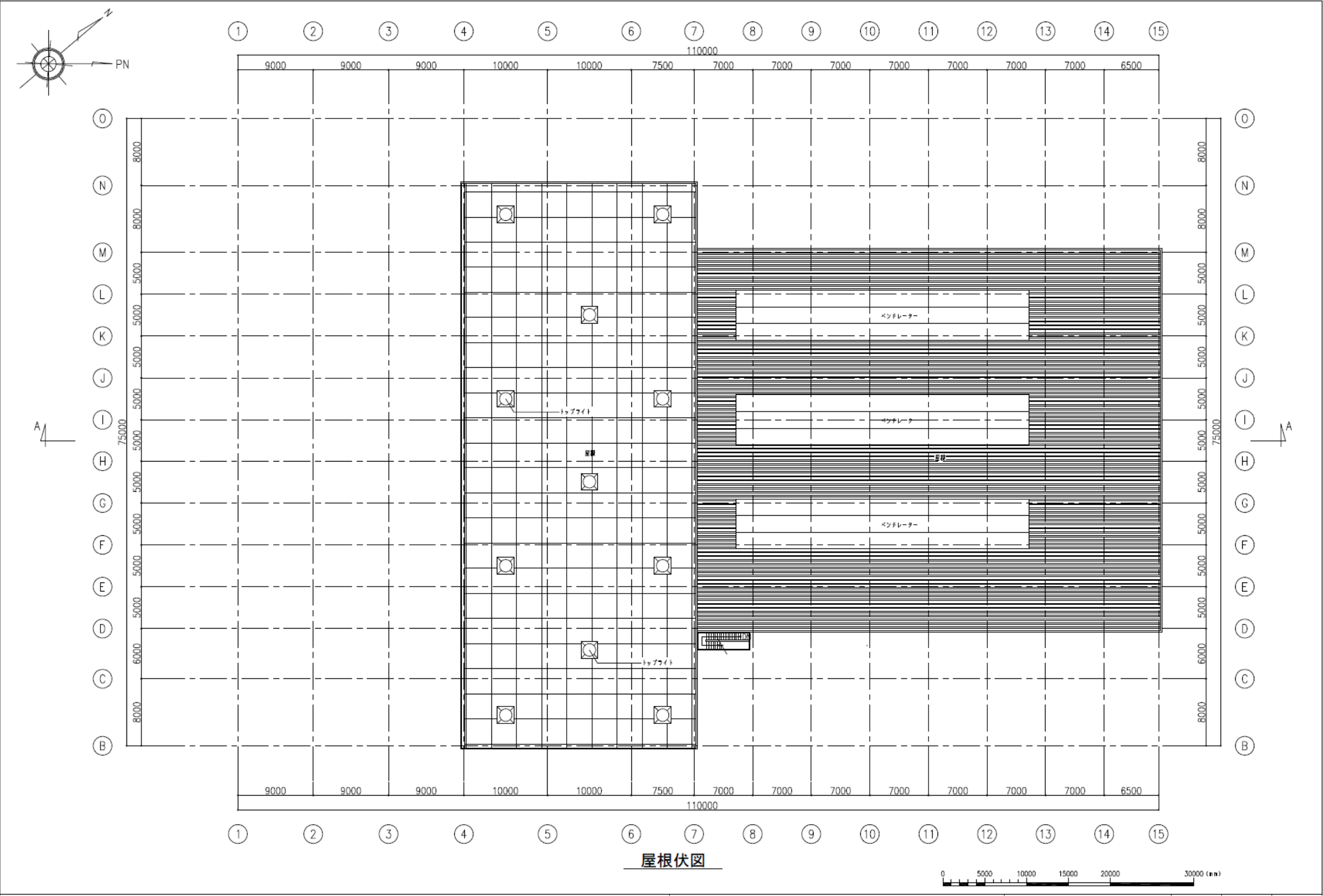
各階平面計画 [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



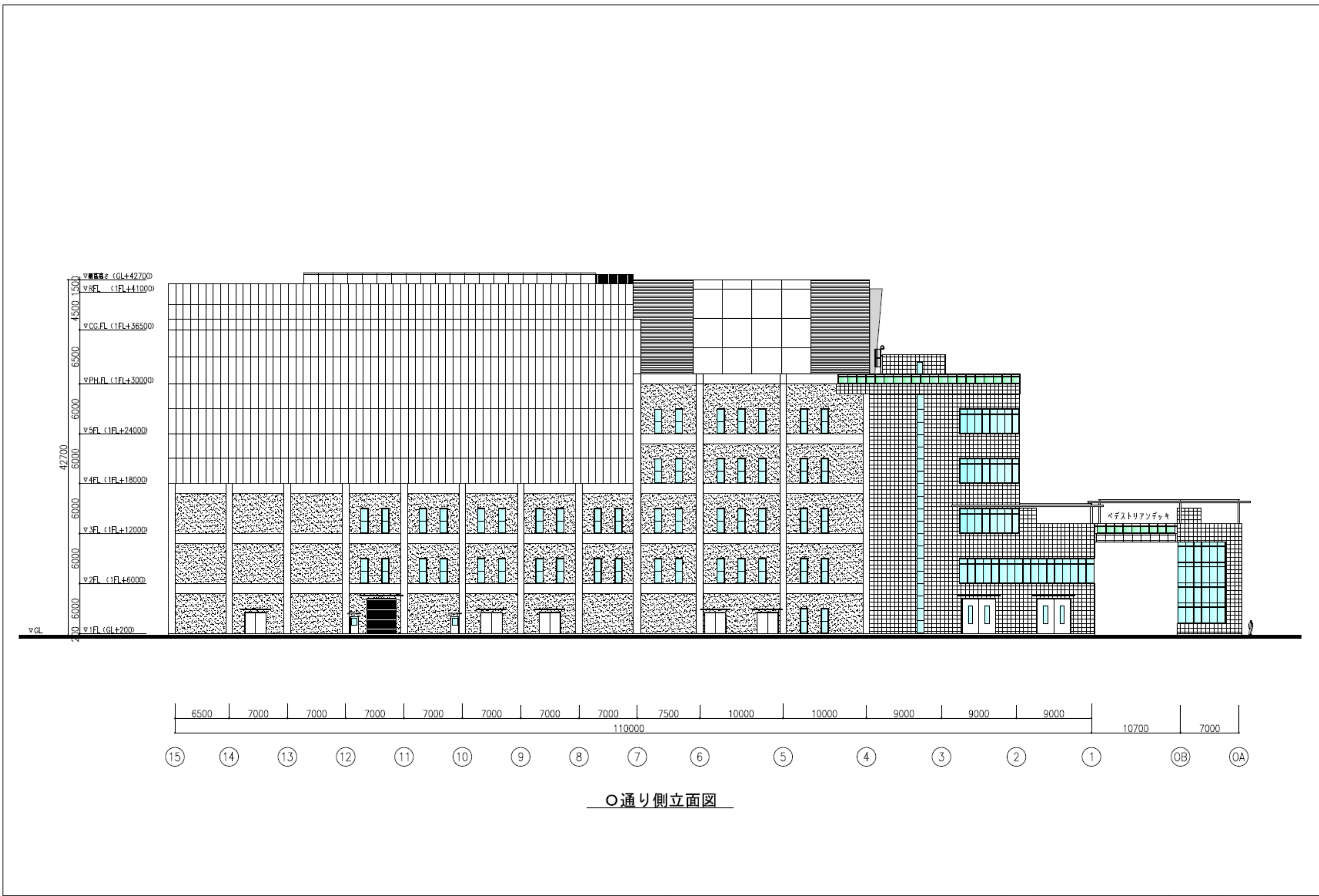
各階平面計画 [シャフト炉式ガス化熔融方式] (参考)



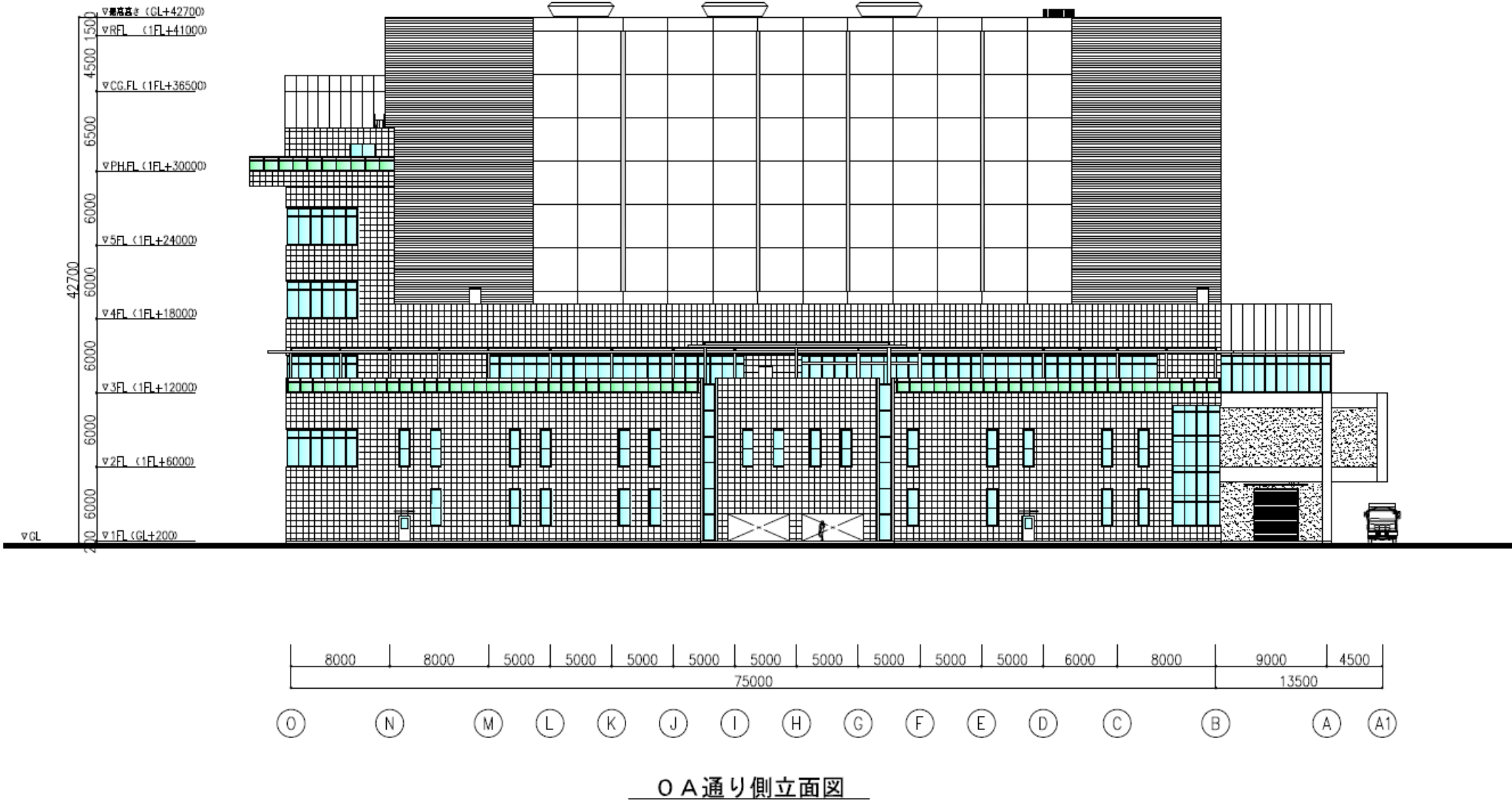
各階平面計画 [シャフト炉式ガス化熔融方式] (参考)



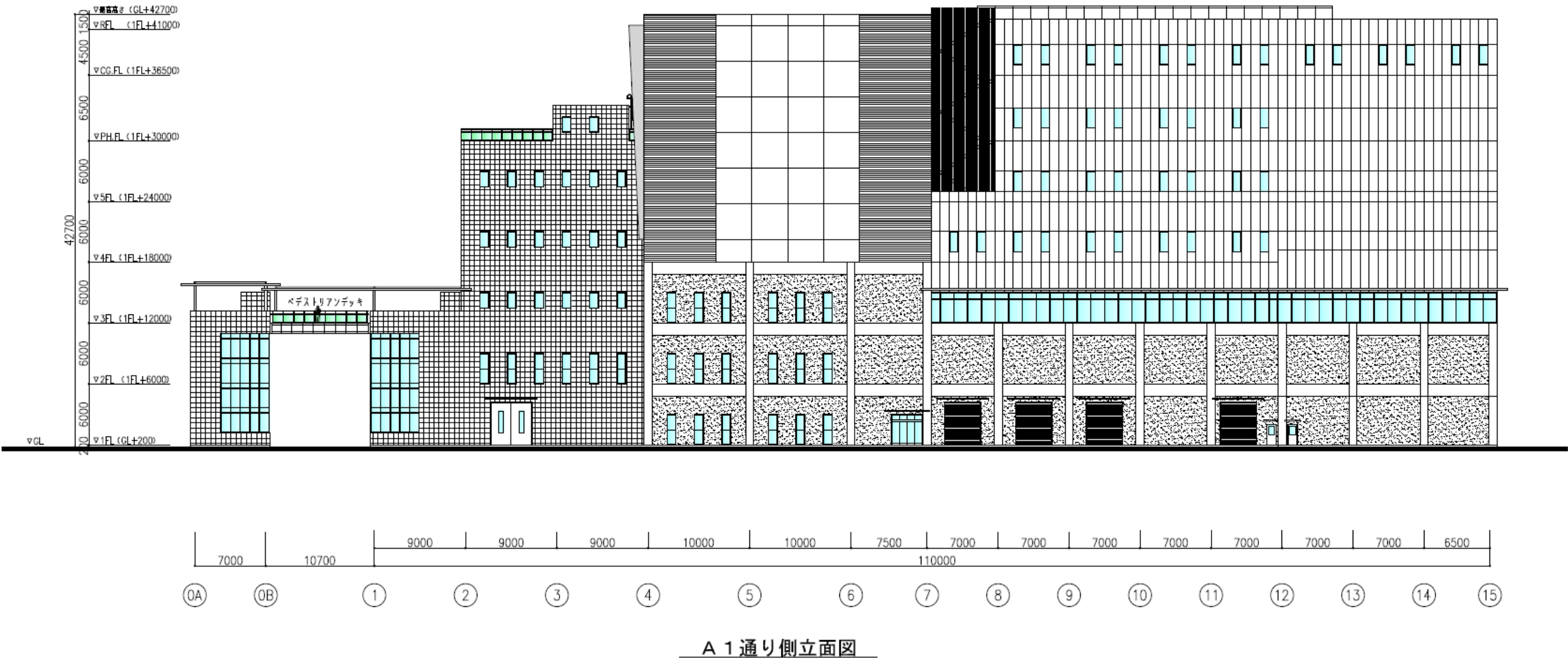
各階平面計画 [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



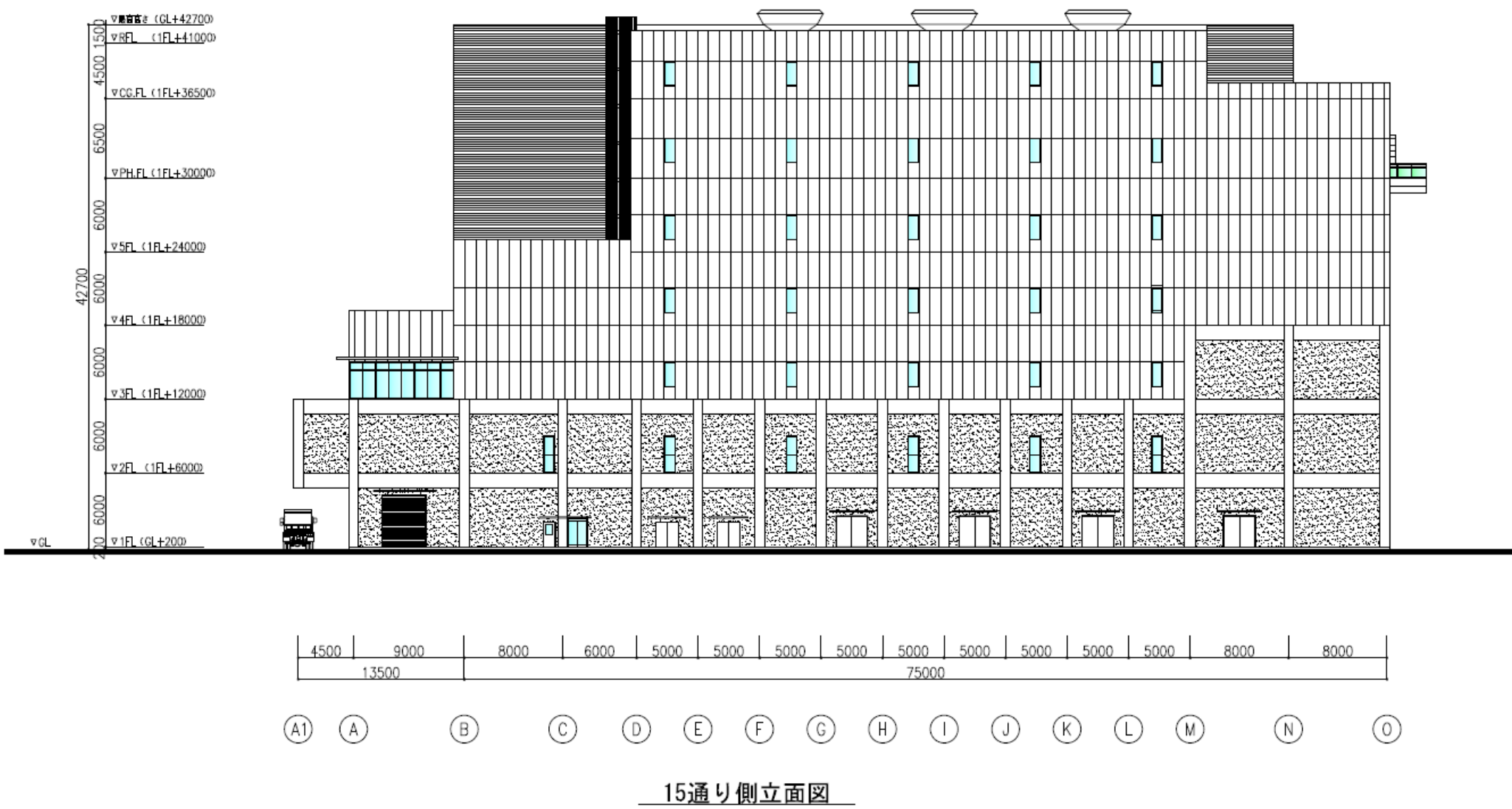
立面図 (1) [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



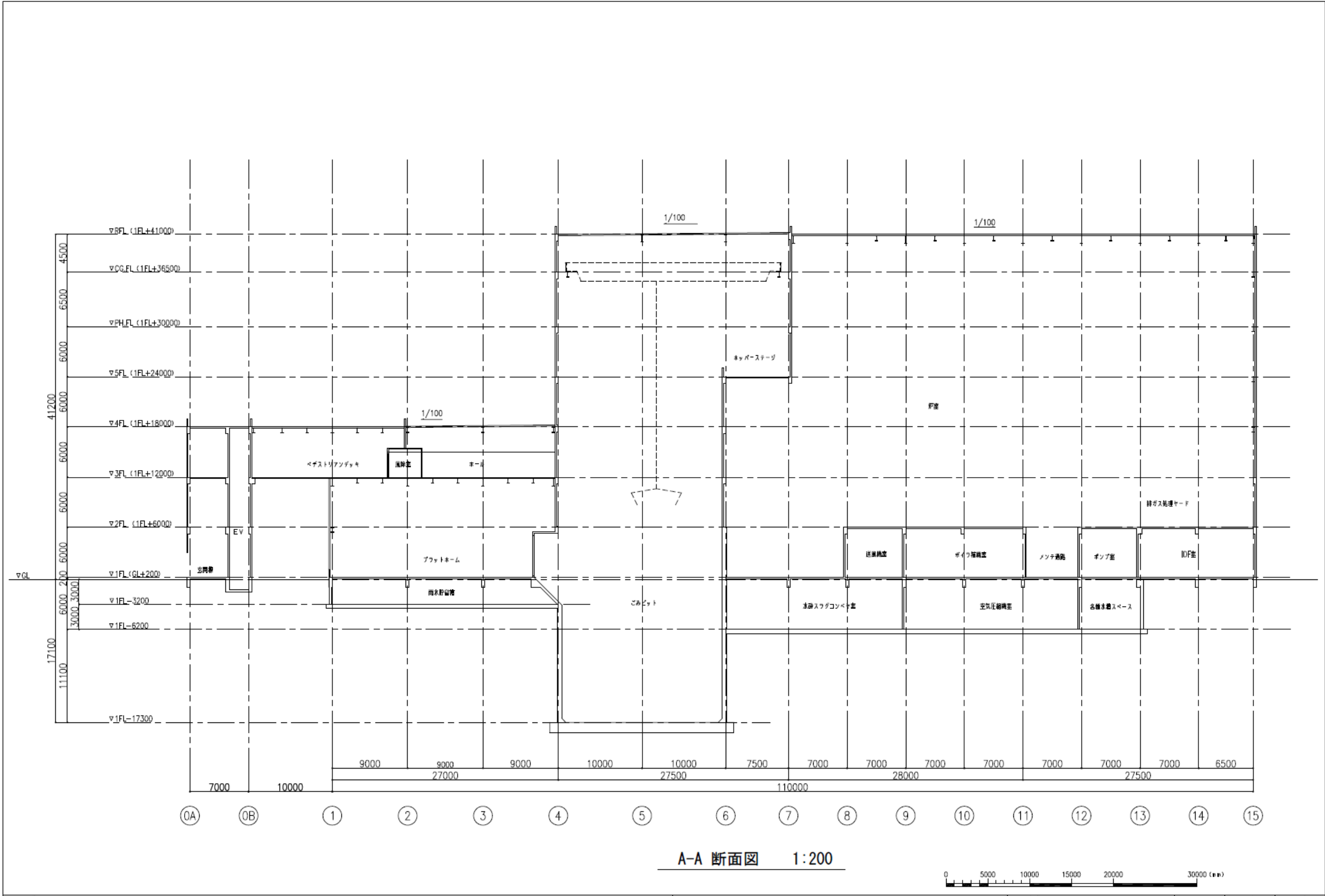
立面図 (2) [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



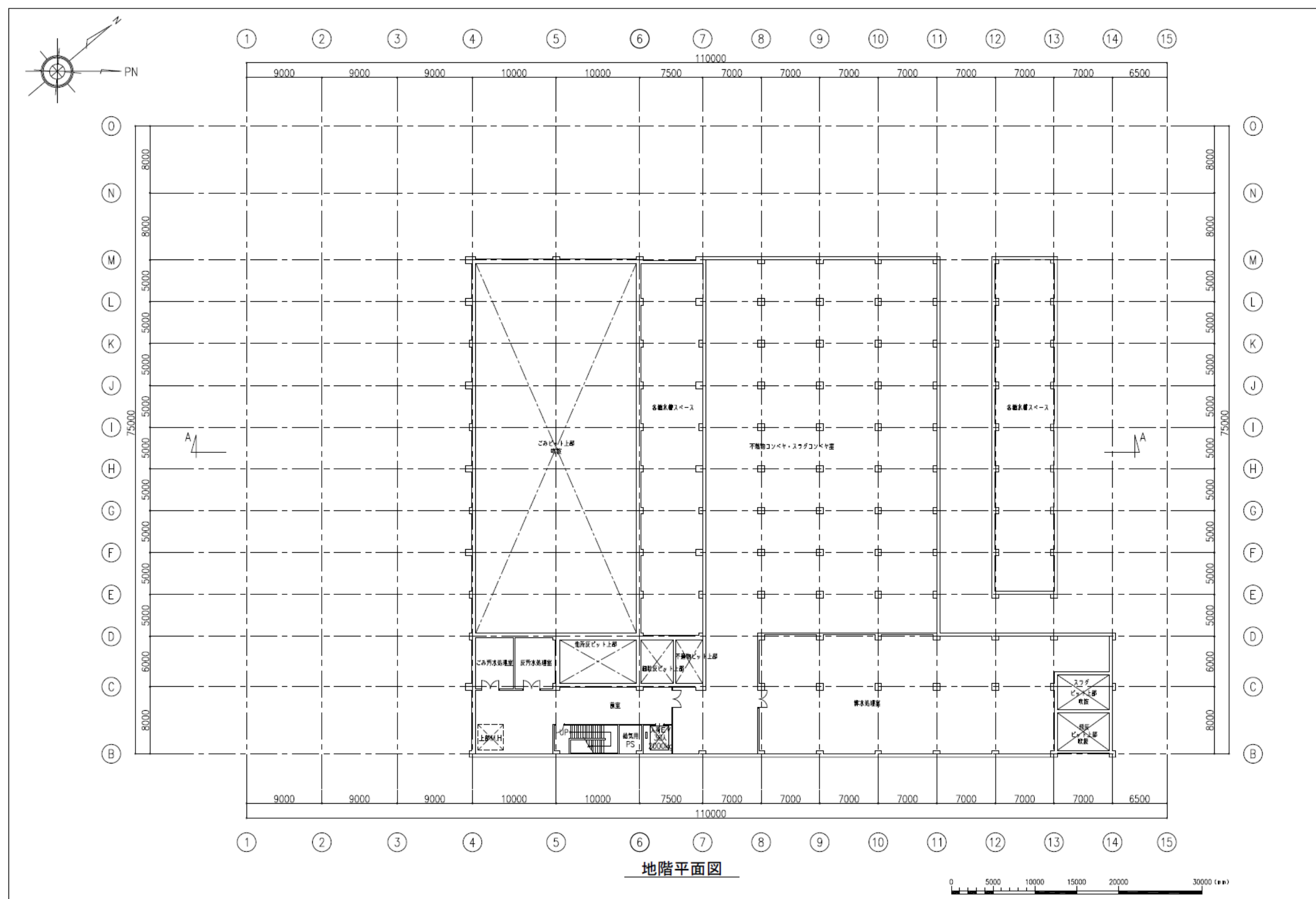
立面図 (3) [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



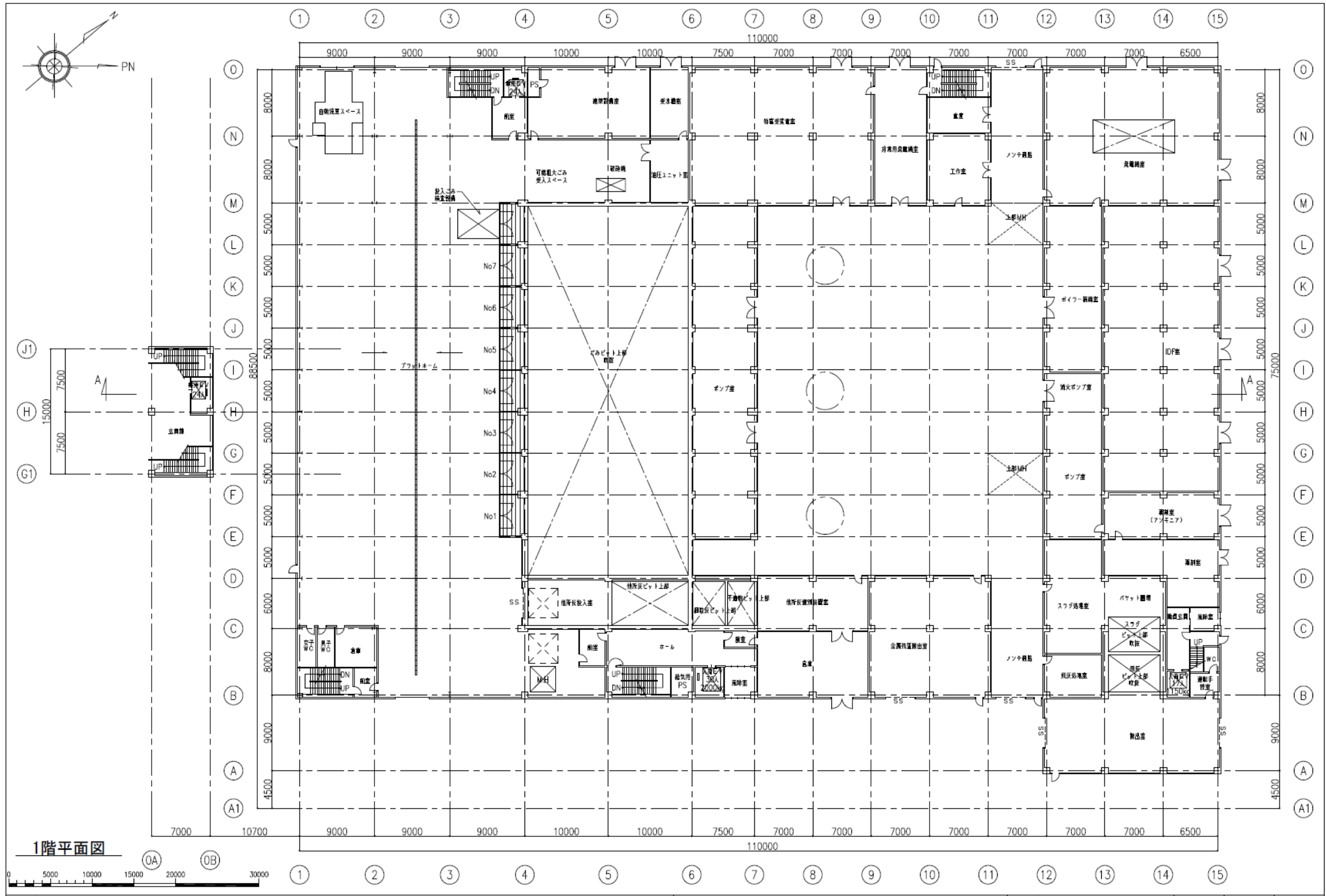
立面図 (4) [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



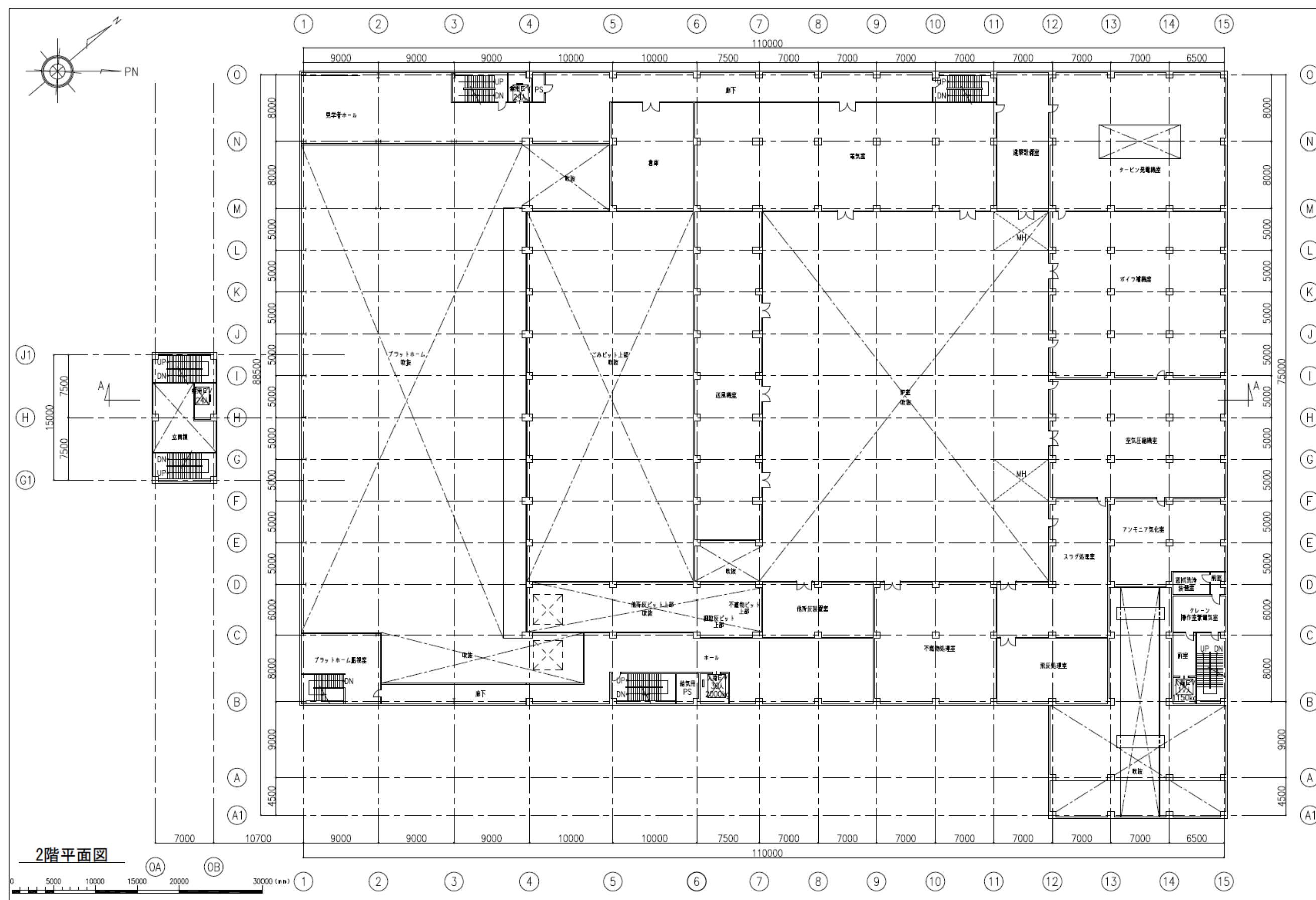
断面図 [シャフト炉式ガス化溶融方式] (参考)



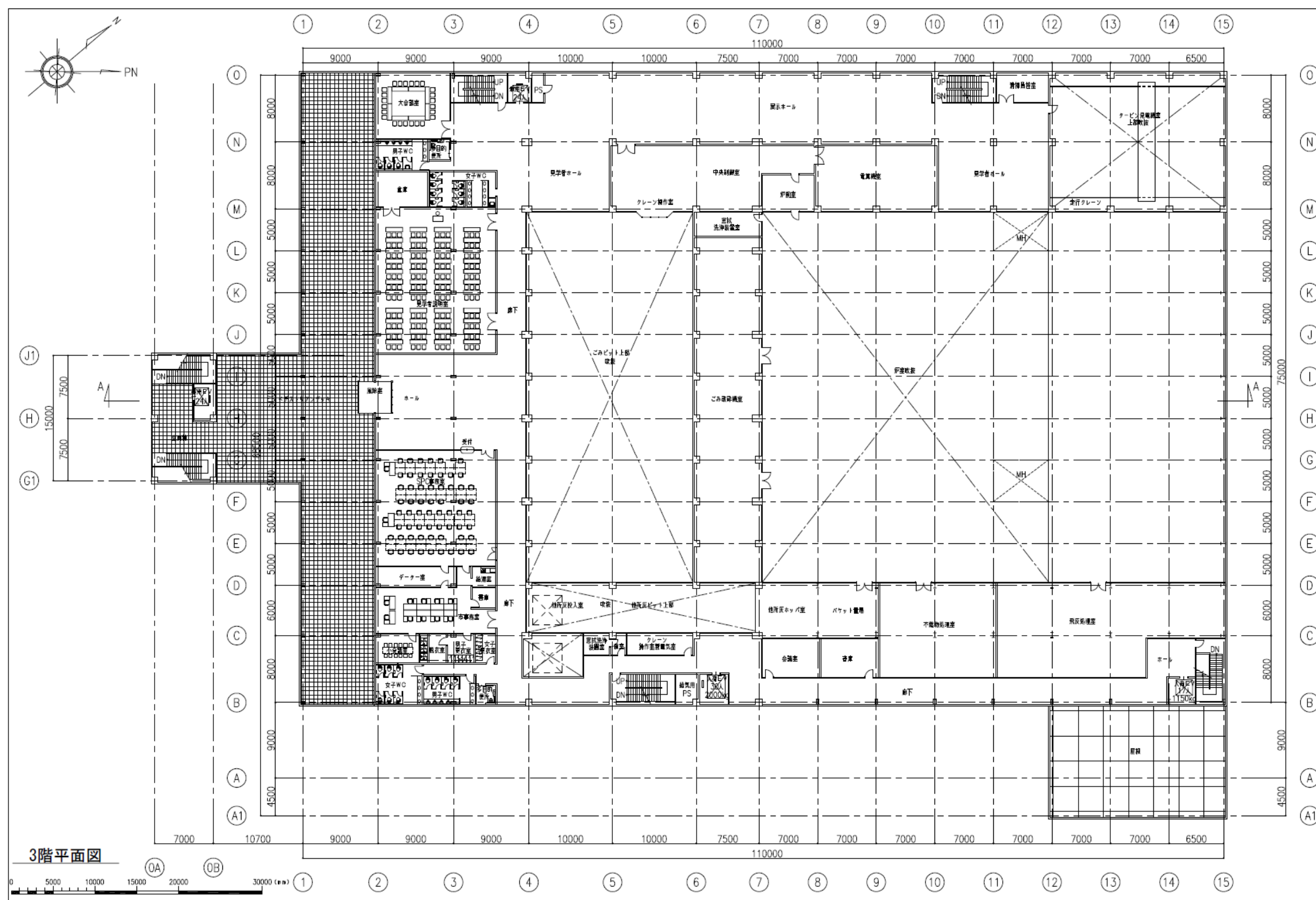
各階平面計画〔流動床式ガス化溶融方式〕（参考）



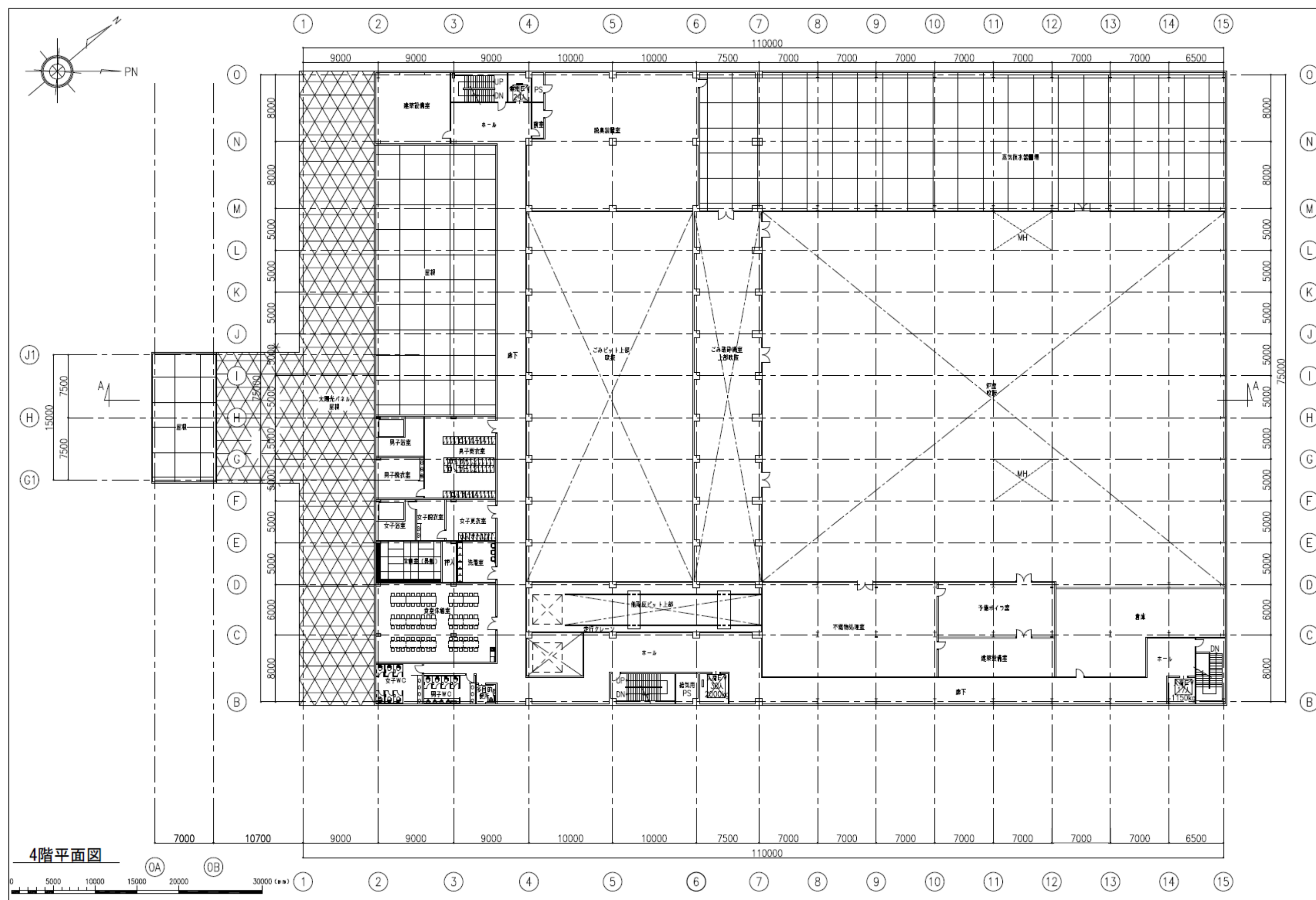
各階平面計画 [流動床式ガス化溶融方式] (参考)



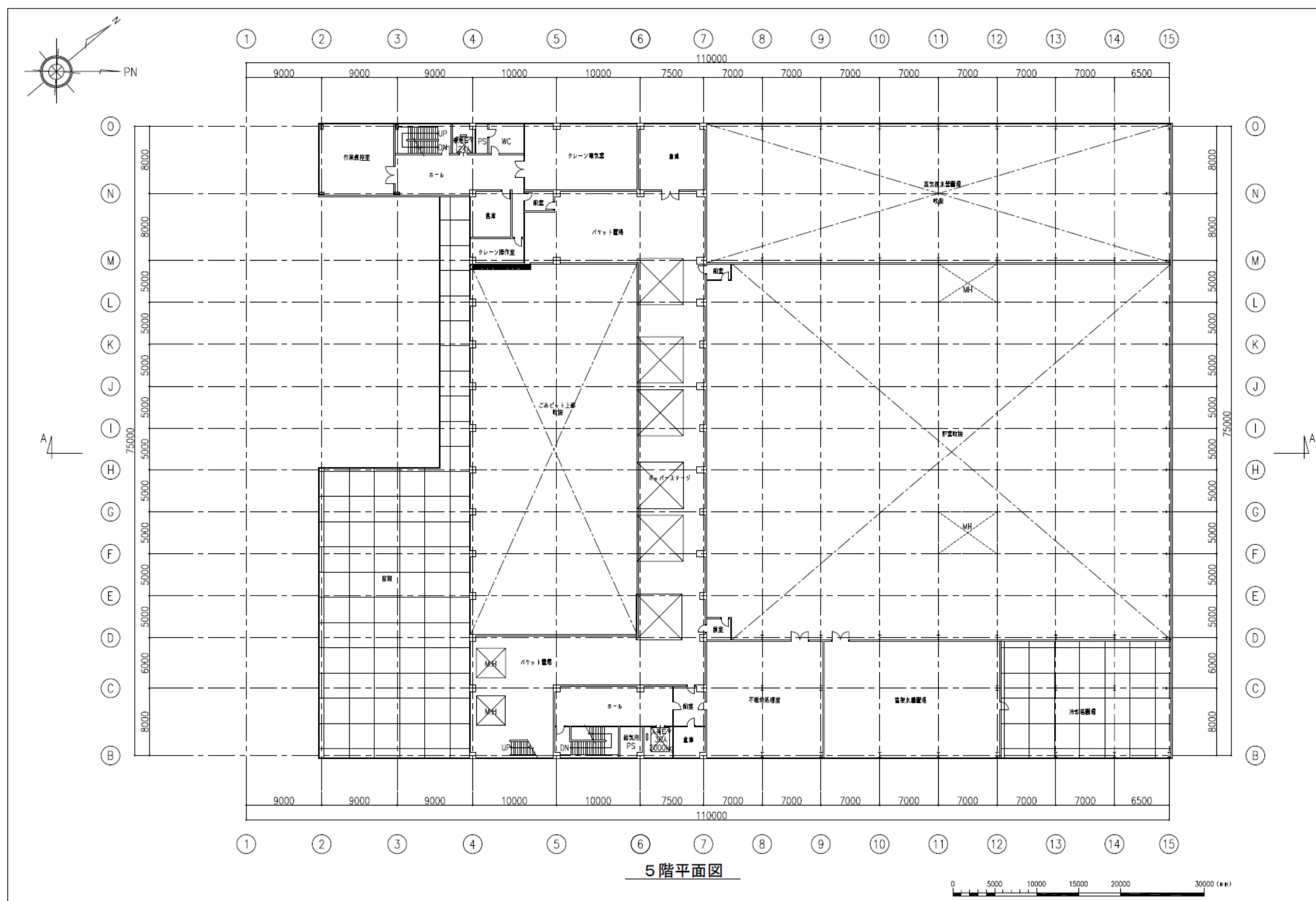
各階平面計画〔流動床式ガス化溶融方式〕（参考）



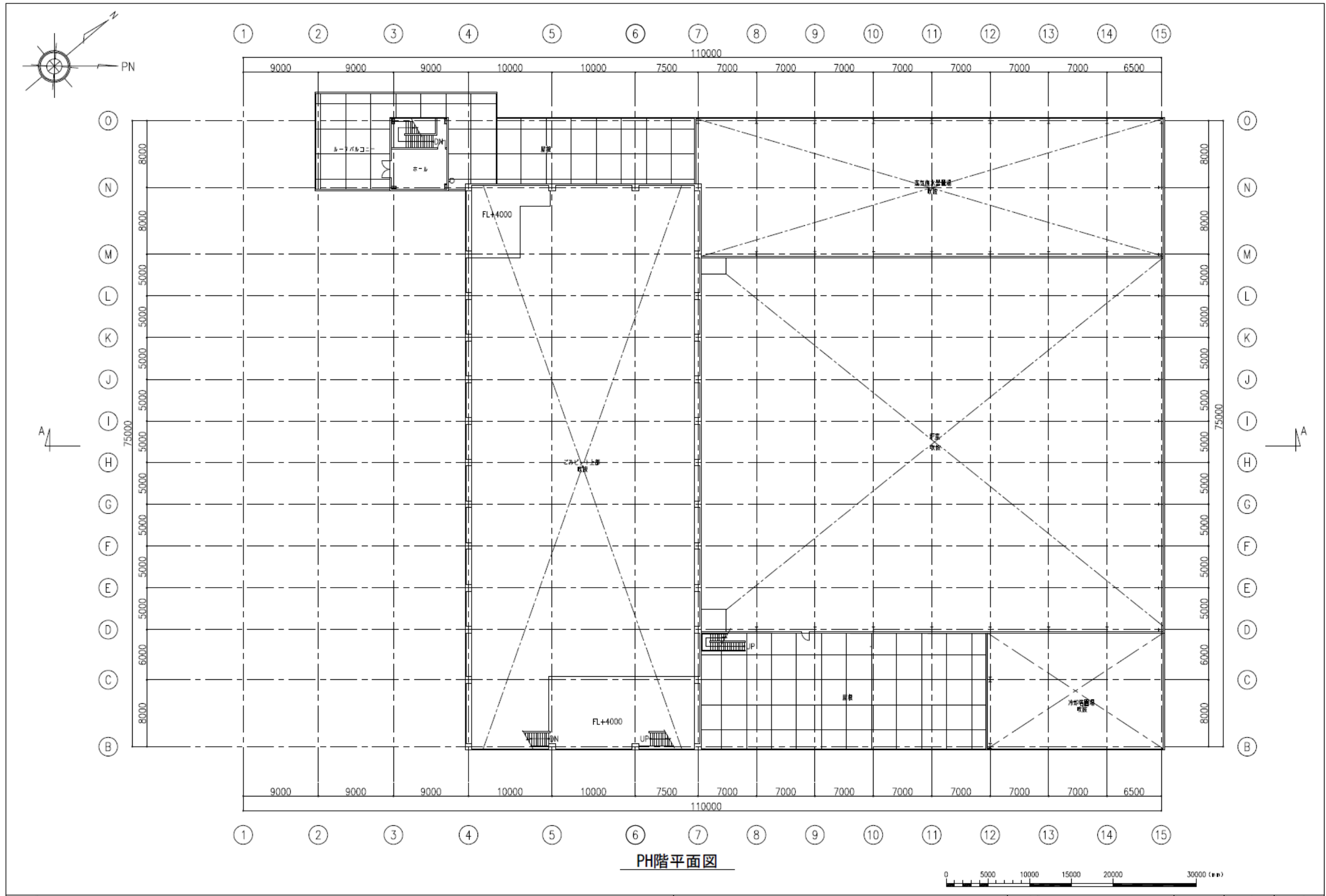
各階平面計画〔流動床式ガス化溶融方式〕（参考）



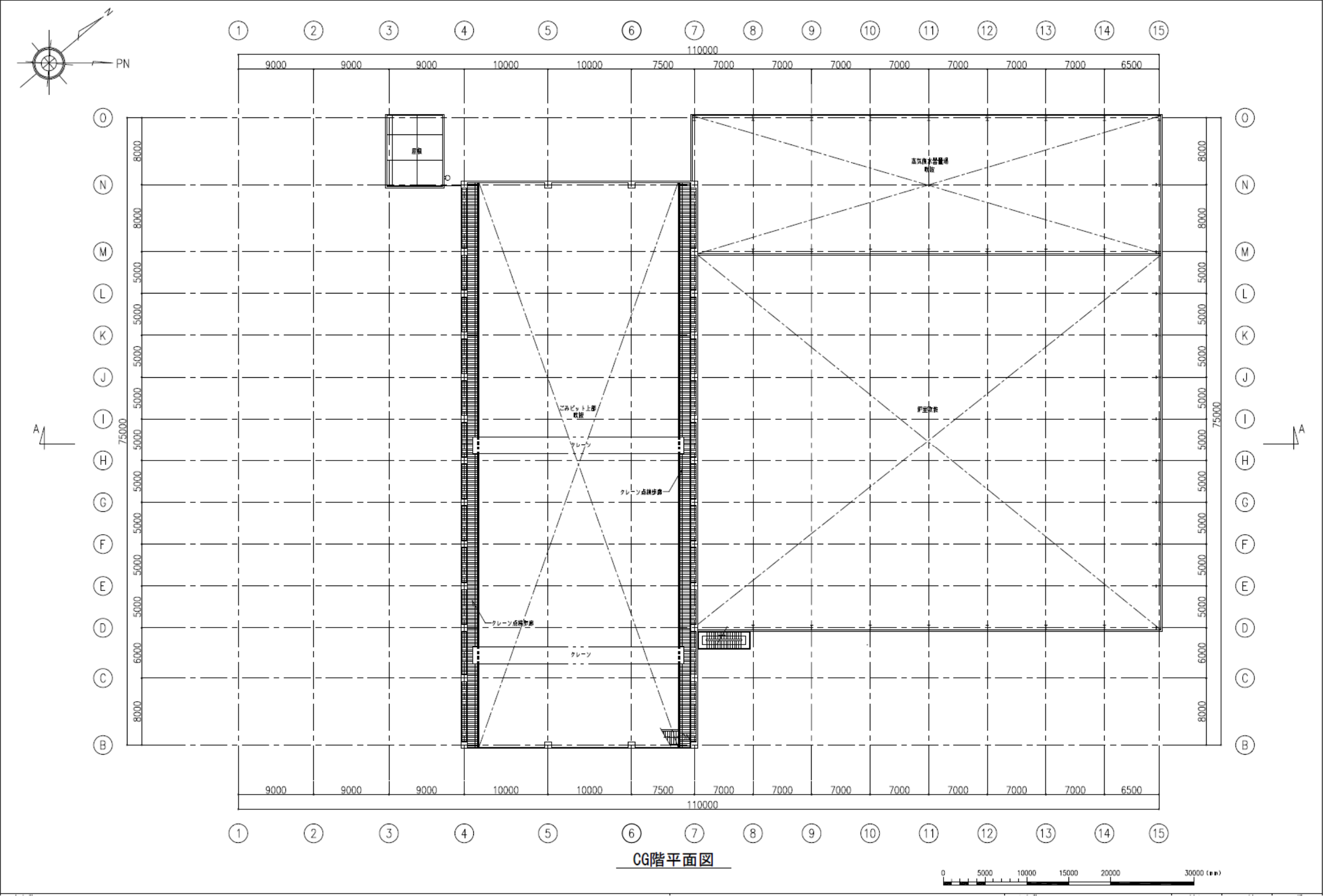
各階平面計画〔流動床式ガス化溶融方式〕（参考）



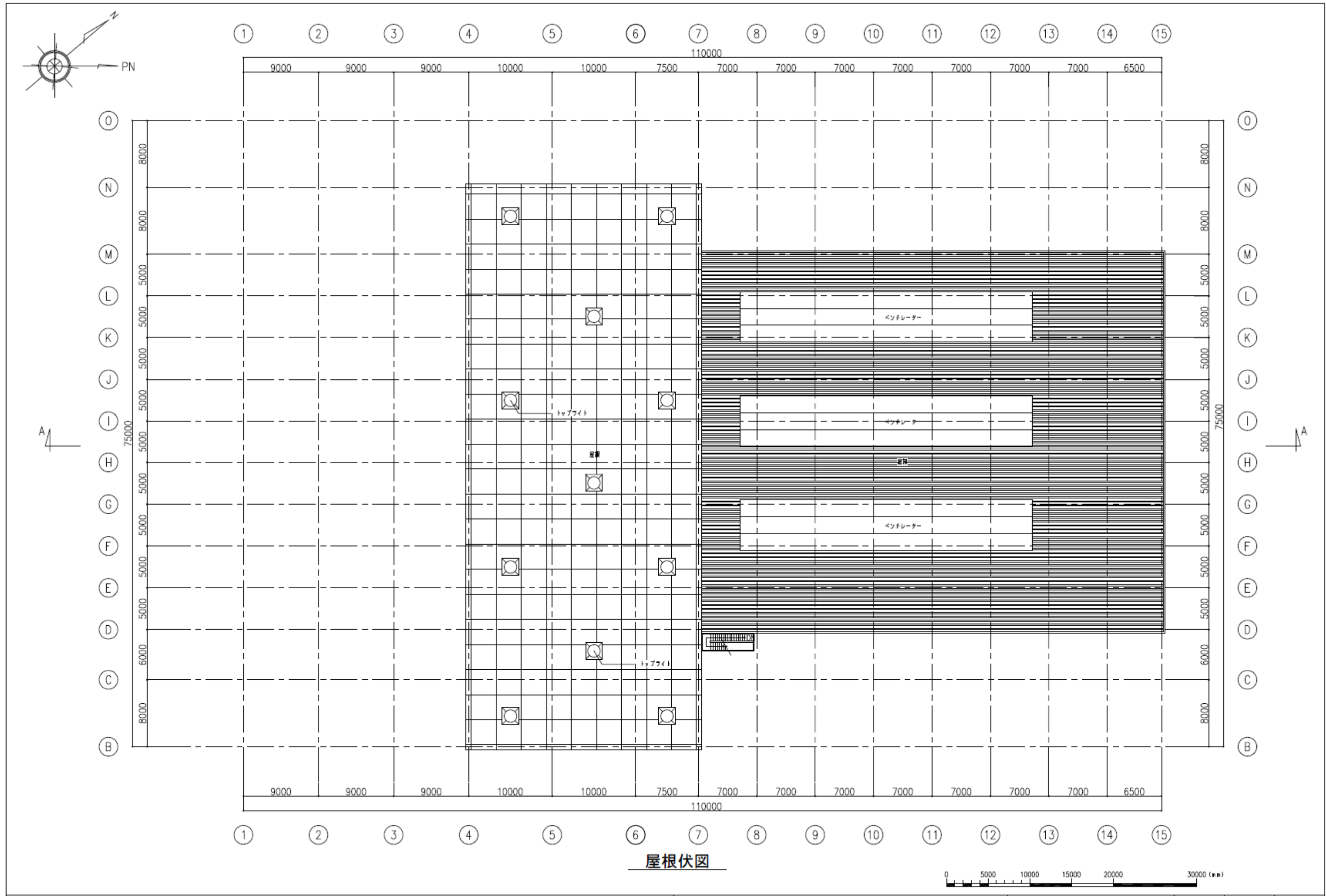
各階平面計画〔流動床式ガス化溶融方式〕（参考）



各階平面計画 [流動床式ガス化溶融方式] (参考)

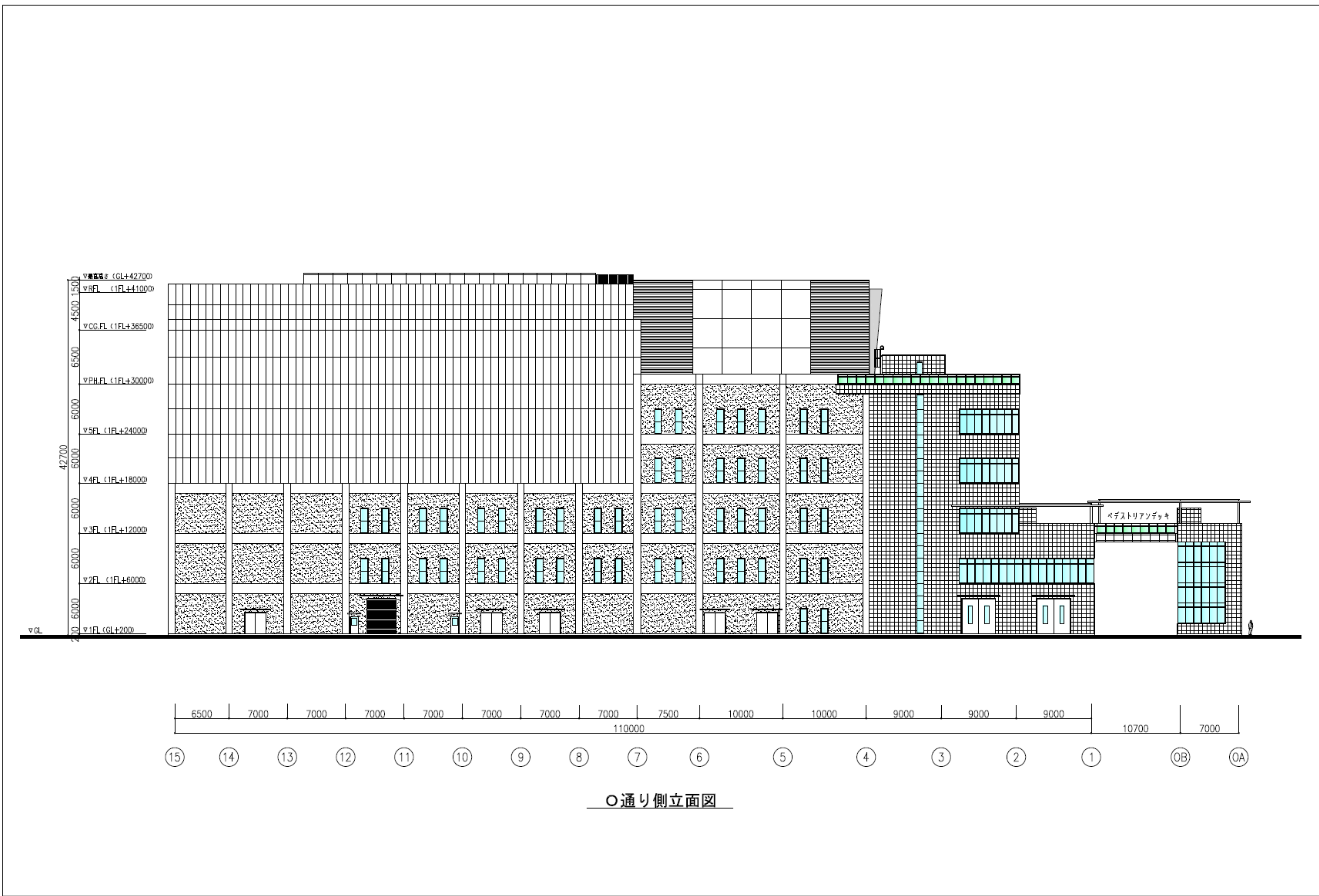


各階平面計画 [流動床式ガス化溶解方式] (参考)

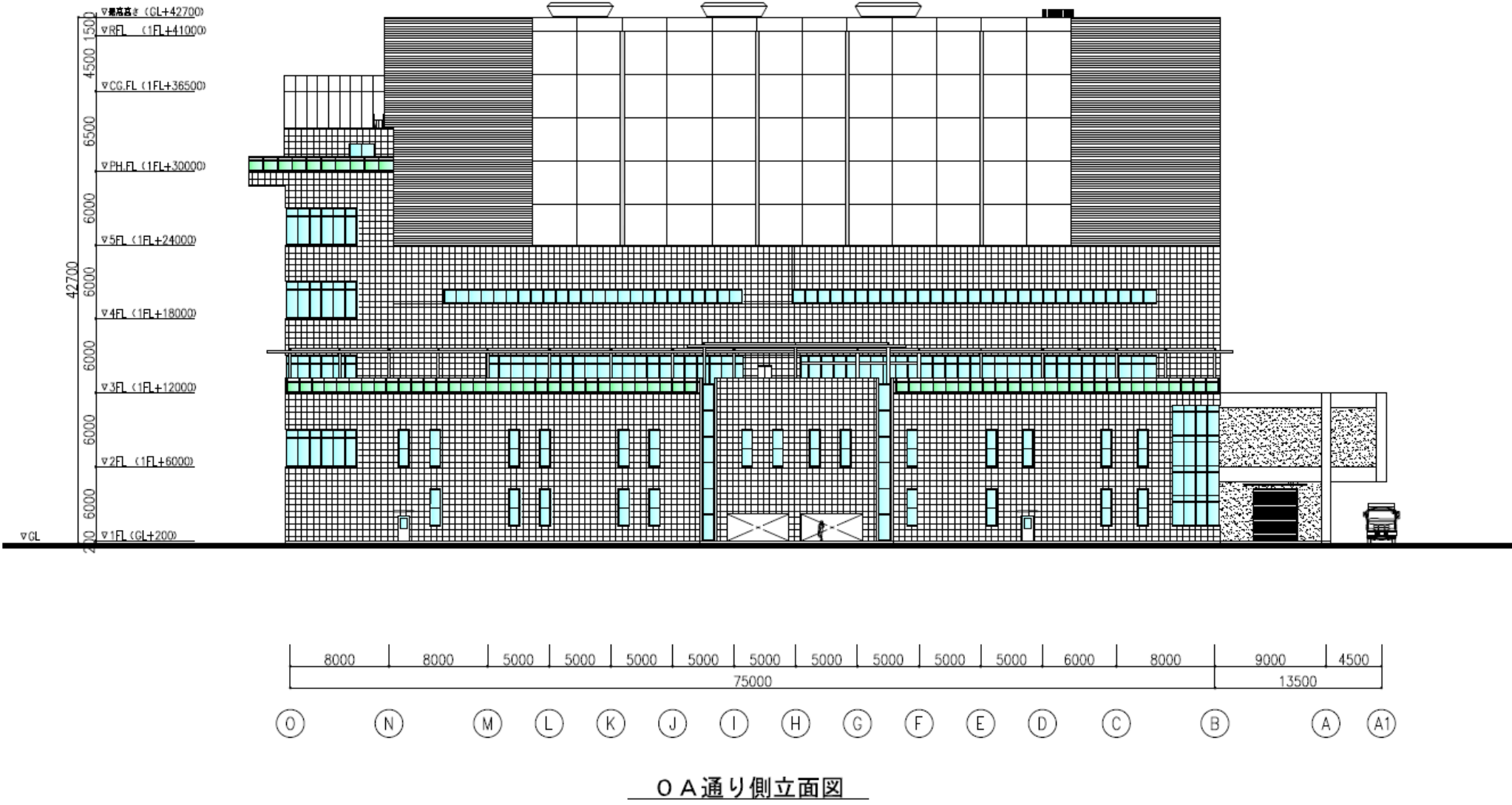


屋根伏図

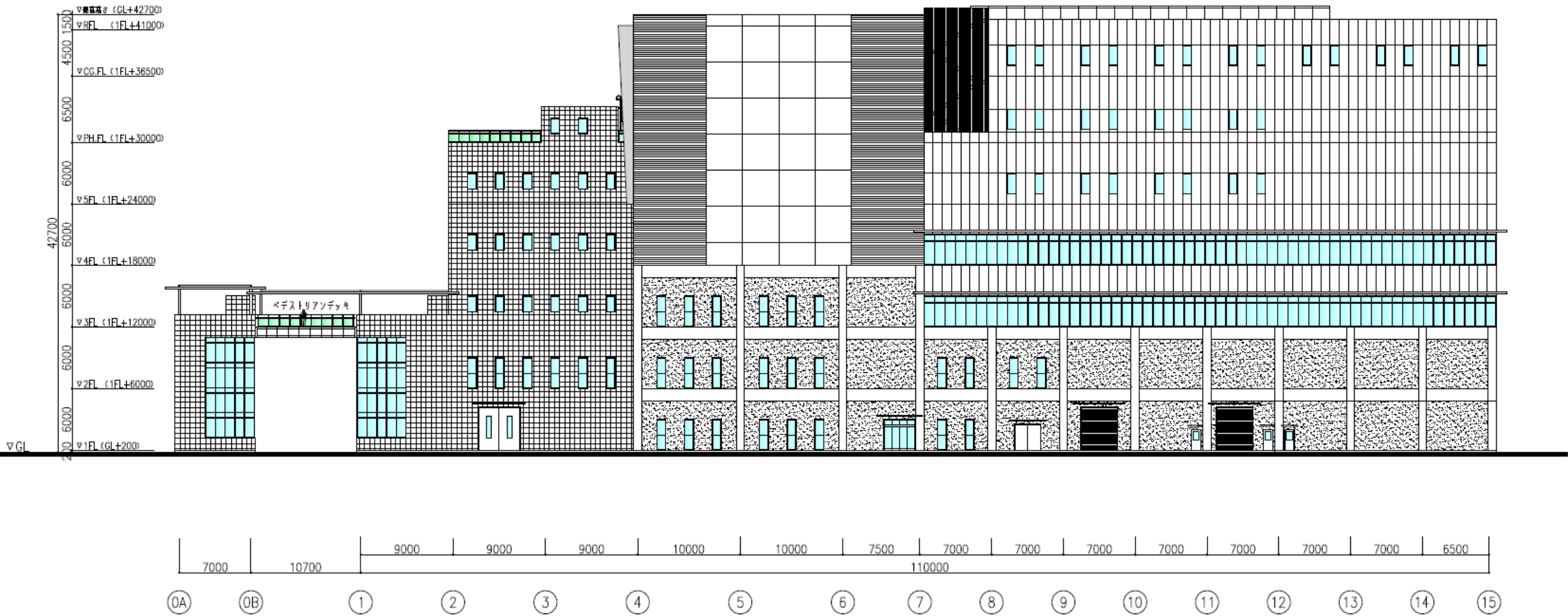
各階平面計画 [流動床式ガス化熔融方式] (参考)



立面図 (1) [流動床式ガス化溶融方式] (参考)

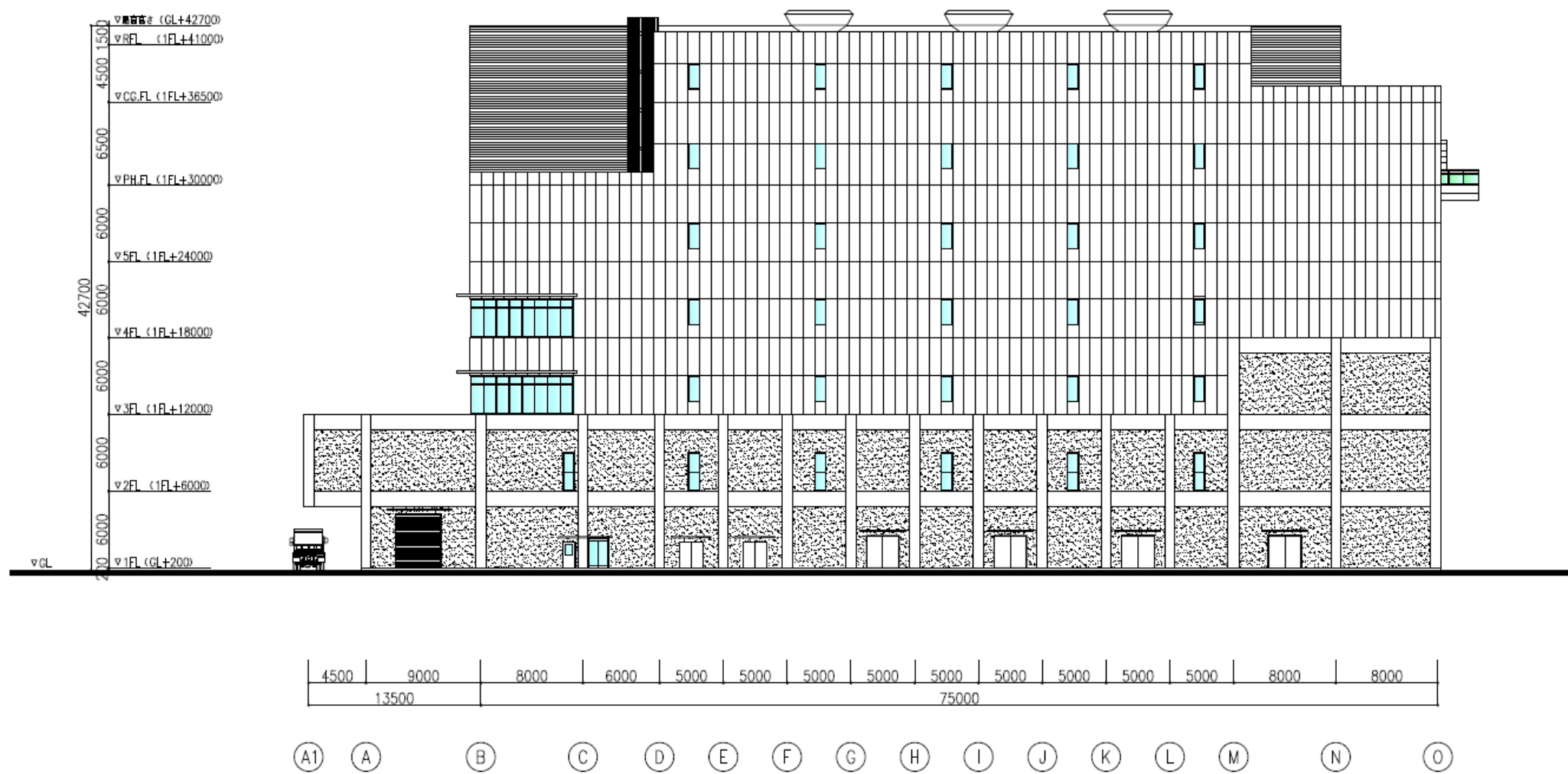


立面図 (2) [流動床式ガス化溶融方式] (参考)



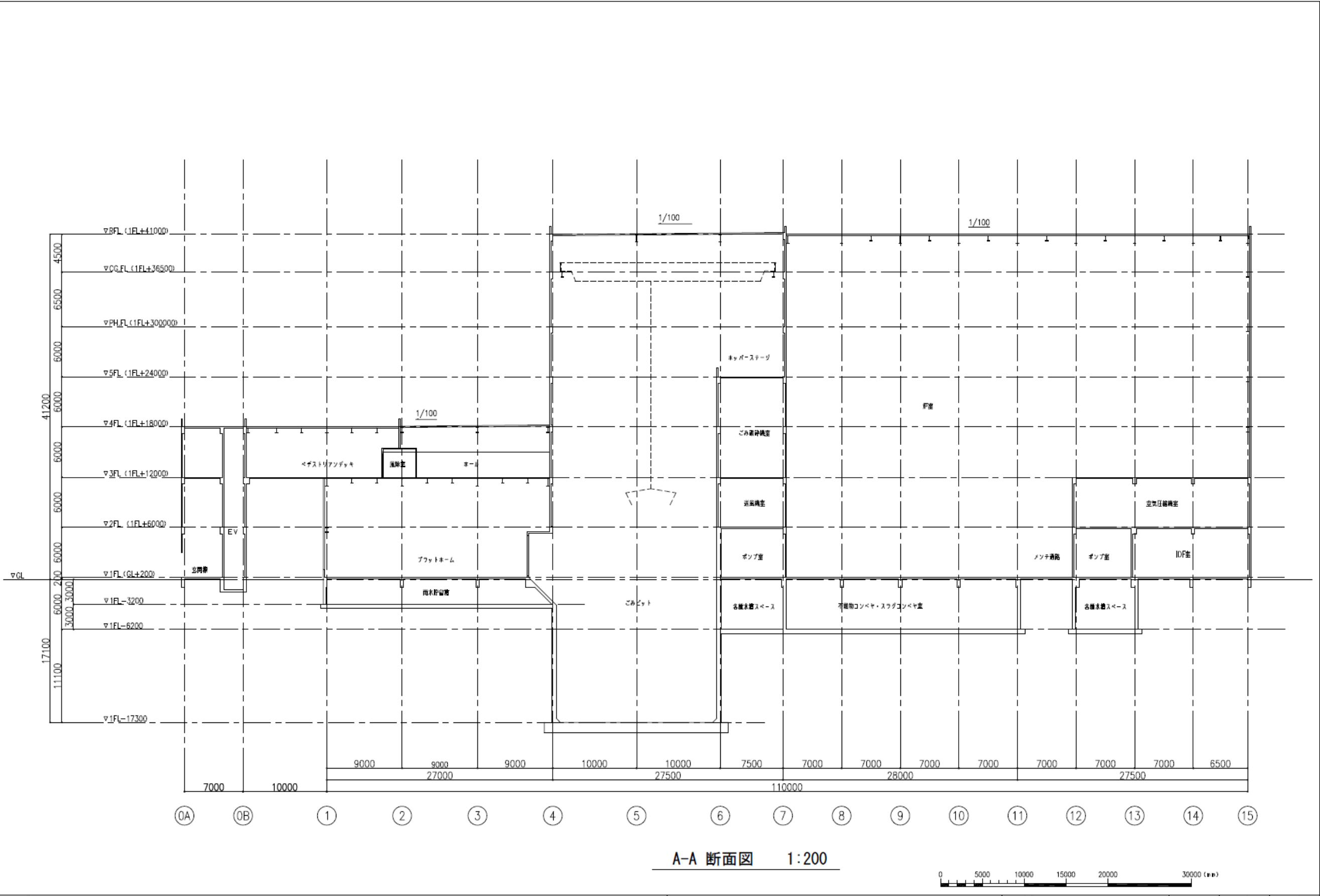
A 1 通り側立面図

立面図 (3) [流動床式ガス化溶融方式] (参考)



15通り側立面図

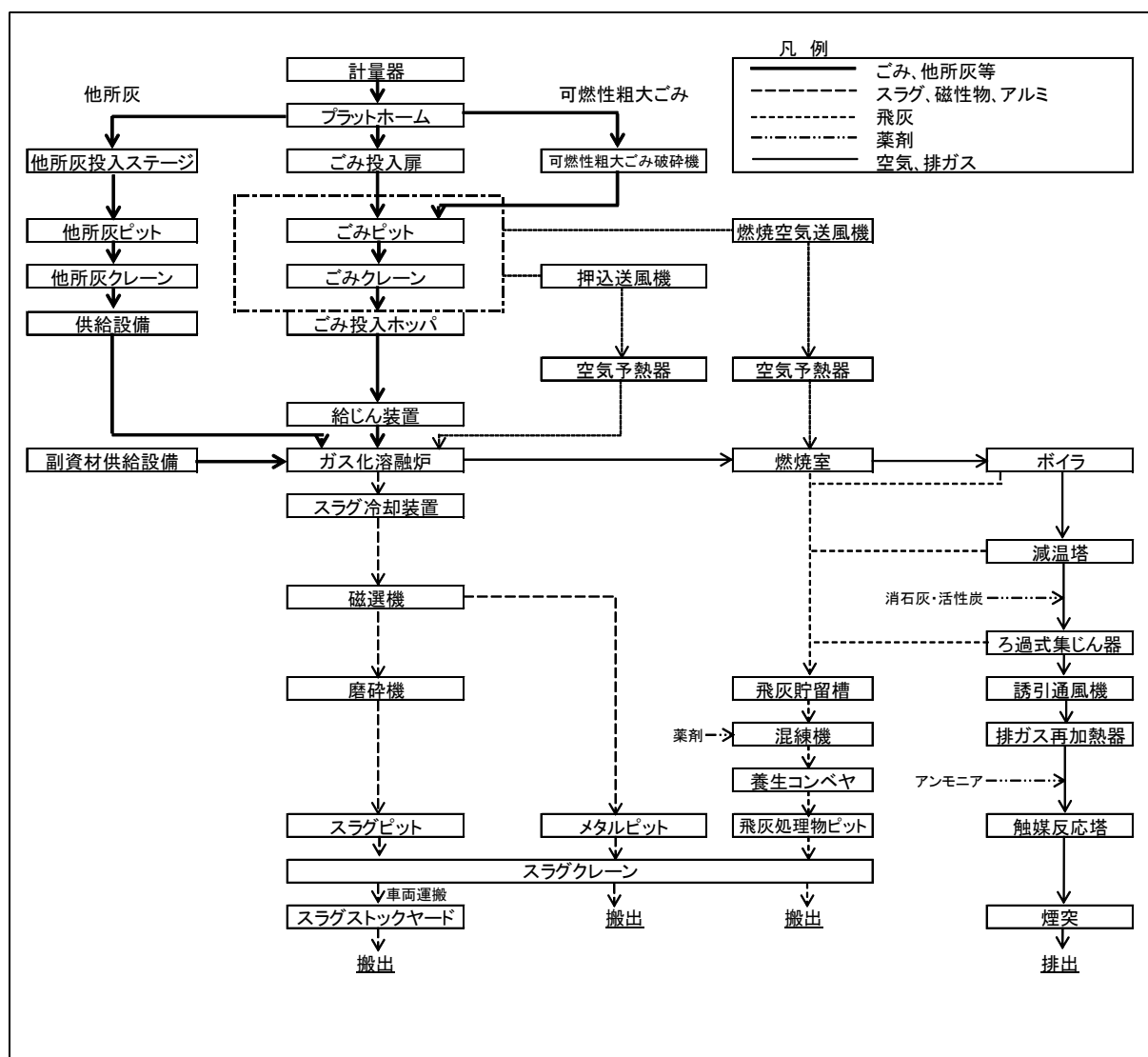
立面図 (4) [流動床式ガス化溶融方式] (参考)



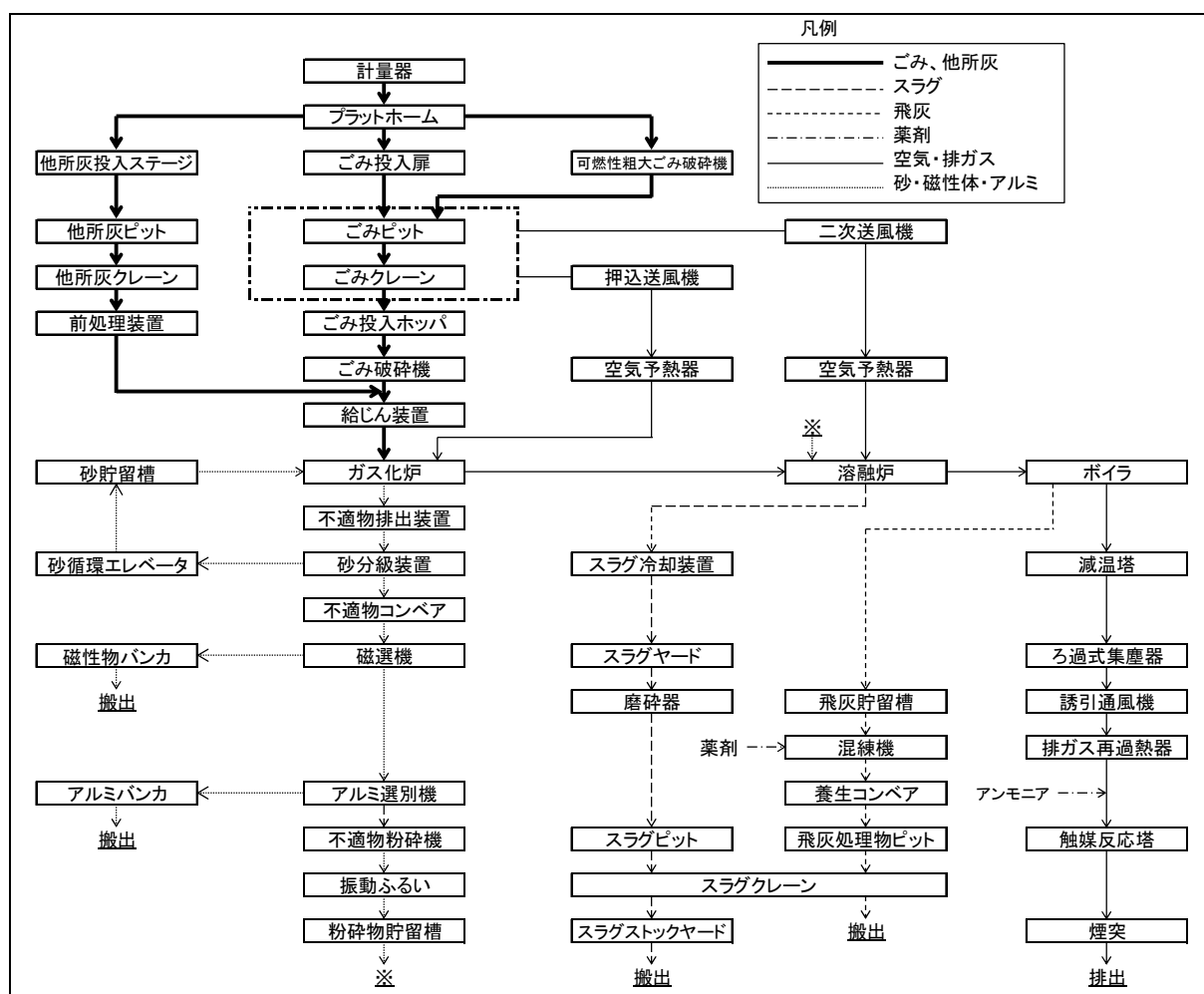
断面図 [流動床式ガス化溶融方式] (参考)



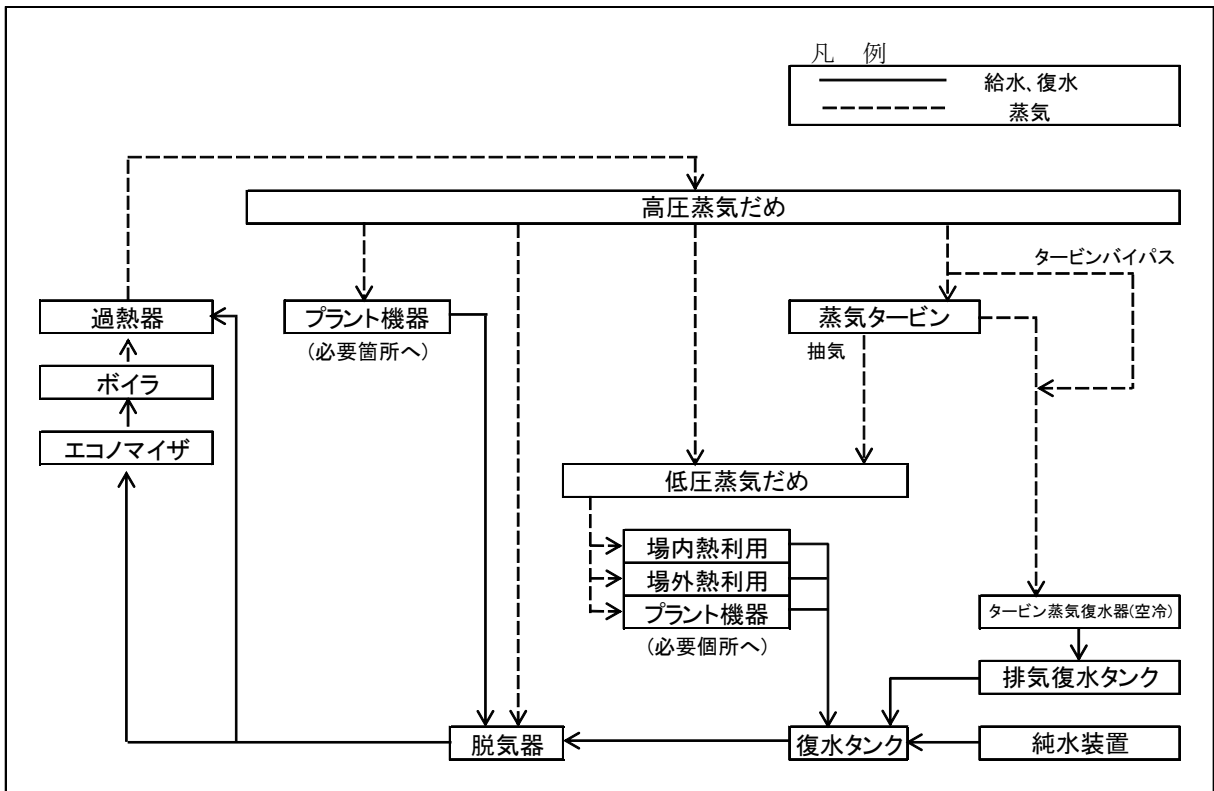
施設イメージ図（参考）



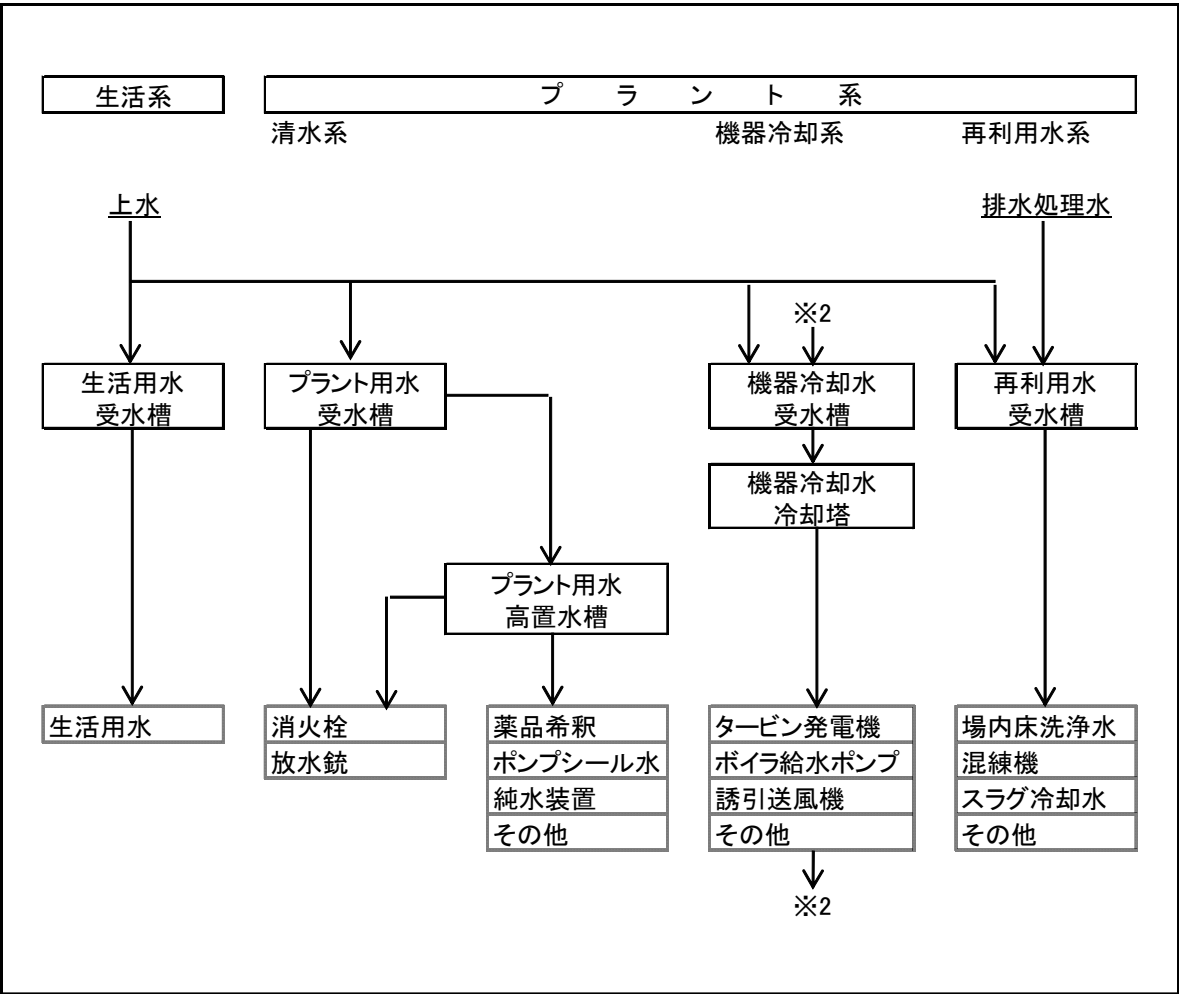
参考：ごみ処理フローシート（シャフト炉式ガス化溶融方式）



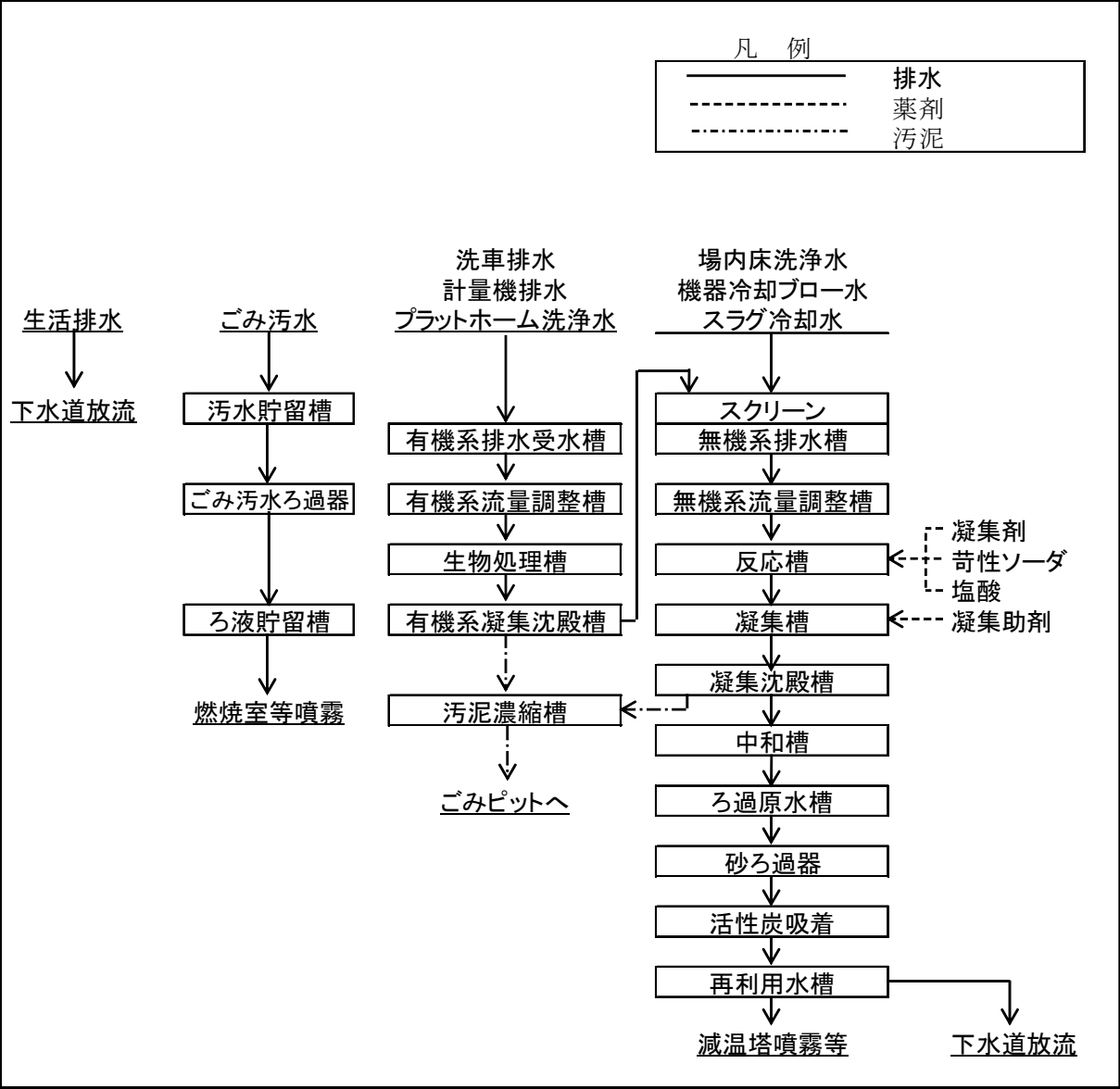
参考：ごみ処理フローシート（流動床式ガス化溶融方式）



参考：蒸気・復水フローシート



参考：給水フローシート



参考：排水処理フローシート

建築標準仕上表

外部仕上は下記を標準とする。

棟別名	構造	外壁	屋根
プラットフォーム	鉄筋コンクリート造又は 鉄筋鉄骨コンクリート造 (腰壁まで) 鉄骨造	コンクリート打放しの上大判タイル貼	PC版及びコンクリート金ゴテ押さえの上シート防水
ごみピット 上屋	鉄筋コンクリート造	コンクリート打放し補修の上撥水 剤塗布 コンクリート打放しの上磁器質 タイル貼	PC版及びコンクリート金ゴテ押さえの上シート防水
炉室、排ガス 処理ヤード上屋	鉄筋コンクリート造又は 鉄筋鉄骨コンクリート造 鉄骨造	コンクリート打放し補修の上フッ 素樹脂塗装 押出成形セメント版の上フッ素 樹脂塗装	ALC版の上シート防水
スラグストックヤード棟	鉄筋コンクリート造(腰 壁まで) 鉄骨造	コンクリート打放し補修及び鉄骨 ALC版の上フッ素樹脂塗装	カラーガルバリウム鋼板

建築標準仕上表

内部仕上りは下記を標準とする。(工場諸室)

No.	室名	床	壁	天井
1	ごみピット	コンクリート金ごて	コンクリート打放し補修	直天
2	特高受変電室	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修	直天
3	発電機室	コンクリート金ごて防塵塗装	鉄筋コンクリート吸音材貼り	吸音材貼り
4	電気室	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修 又はALC版	コンクリート打放し補修
5	炉室、排ガス処理 ヤード	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修 PC版	直天
6	スラグ処理室	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修	直天
7	飛灰処理室	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修	直天
8	送風機室	コンクリート金ごて防塵塗装	吸音材貼り	吸音材貼り
9	ポンプ室	コンクリート金ごて防塵塗装	吸音材貼り	吸音材貼り
10	空気圧縮機室	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修	直天
11	油圧ユニット室	コンクリート金ごて防塵塗装	コンクリート打放し補修	直天
12	酸素発生装置室	コンクリート金ごて防塵塗装	鉄筋コンクリート吸音材貼り	吸音材貼り
13	ボイラ補機室	コンクリート金ごて防塵塗装 (耐酸耐薬)	コンクリート打放し補修	直天
14	薬剤室	コンクリート金ごて防塵塗装 (耐酸耐薬)	コンクリート打放し補修	直天
15	排水処理室	コンクリート金ごて防塵塗装 (耐酸耐薬)	コンクリート打放し補修	直天
16	ホップステージ	コンクリート金ごて防塵塗装 アスファルト防水	コンクリート打放し補修	直天
17	プラットホーム	コンクリート金ごて 表面強化耐摩耗性塗り床 アスファルト防水	コンクリート打放し補修	直天
18	スラグ搬出室	コンクリート金ごて 表面強化耐摩耗性塗り床	コンクリート打放し補修	直天
19	復水器置場 冷却塔置場	コンクリート金ごて アスファルト防水	吸音材貼り	
20	プラットホーム 監視室	コンクリート金ごて 長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス貼	化粧石膏ボード
21	中央制御室・電算 機室	フリーアクセスフロア ビニル床タイル	石膏ボード・ビニルクロス貼	岩綿吸音版
22	クレーン 操作室	フリーアクセスフロア ビニル床タイル	石膏ボード・ビニルクロス貼	岩綿吸音版
23	便所(プラント室 などに設置され るもの	コンクリート金ごて長尺シート	耐水石膏ボード・耐水クロス貼	化粧石膏ボード

建築標準仕上表

内部仕上りは下記を標準とする。(管理諸室)

No.	室名	床	壁	天井
1	玄関・ 玄関ホール	磁気質タイル・長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス	岩綿吸音版
2	事務室	フリークレスフロアビニル床タイル	石膏ボード・ビニルクロス	岩綿吸音版
3	会議室	長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス	岩綿吸音版
4	見学者説明室	長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス	岩綿吸音版
5	廊下・ 見学者ホール	長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス	岩綿吸音版
6	更衣室 脱衣室 洗濯室	長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス	けい酸カルシウム板
7	シャワー室 浴室	せつ器質タイル	陶器質タイル	アルミパントレル
8	休憩室	長尺シート・畳	石膏ボード・ビニルクロス	化粧石膏ボード
9	倉庫 書庫	長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス	化粧石膏ボード
10	給湯室	長尺シート	耐水石膏ボード・耐水クロス	けい酸カルシウム板
11	便所(居室扱いのもの)	長尺シート	陶器質タイル	けい酸カルシウム板
12	階段室	長尺シート	石膏ボード・ビニルクロス・吹付タイル	階段裏：塗装、最上階：化粧石膏ボード

建築設備リスト

建築設備 室名	給排水衛生設備				空調設備				電気設備		放送設備		テレビ 供聴 設備	自動 火災 報知 器	時 計 設 備	備 考	
	給	給	散	排	換気		冷	暖	負	照	コ ン セ ン ト	放					電
					種	回											
給排水衛生設備	給	給	散	排	換	回	冷	暖	負	照	コ	放	電				
明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	
セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	
話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	
器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	
知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	
報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	
火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	
災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	災	
報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	
知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	
器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	
可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	可動式書棚	
ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	
ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	ブラインド	
自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	自動暗幕	

* 自動火災報知器については、消防法によること。

見学者への説明用設備（参考）

1. 基本方針

(1) ごみ処理、環境保全に関する啓発

現在は、地球規模で環境の保護・資源の大切さが大きく叫ばれている時代である。ごみ焼却の仕組み、環境保全対策、資源循環型社会に向けた取組など、小学生から大人までの多くの人々に理解してもらえるものとする。

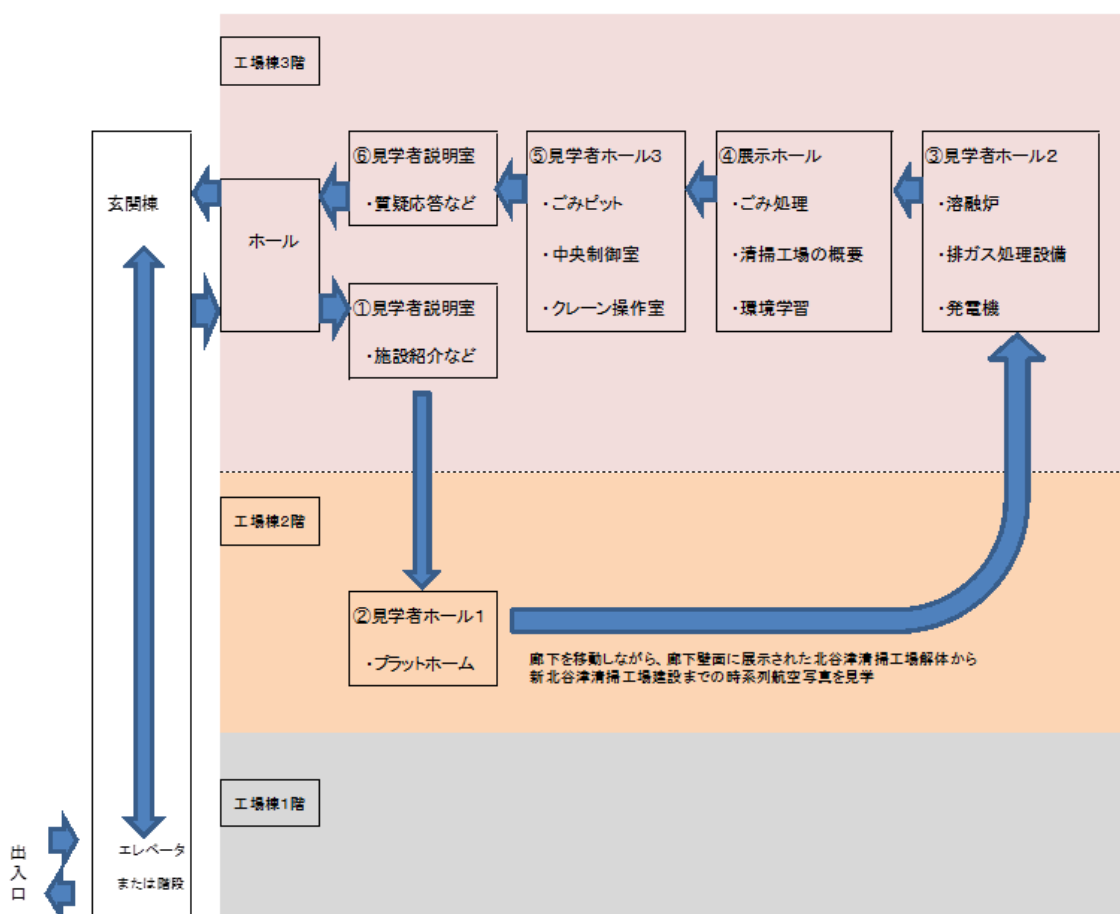
(2) 見学者説明システムの考え方

最先端のAV機器により、音と光を駆使し、見学者が楽しく・正しく、学べるシステムとする。

将来この地球を担う小学生のために、解り易く、楽しい施設とする。

各コーナーの設備をシステムごとに独立させ、増設・改修時に無駄な費用・工事費がかからないものとする。

2. 見学者ルート



3. 各室設備概要（既存清掃工場設備参照）

（1）1階 出入口

案内表示板

1階の出入口には、案内表示板を設置し、来場者を3階のホールへ案内する。

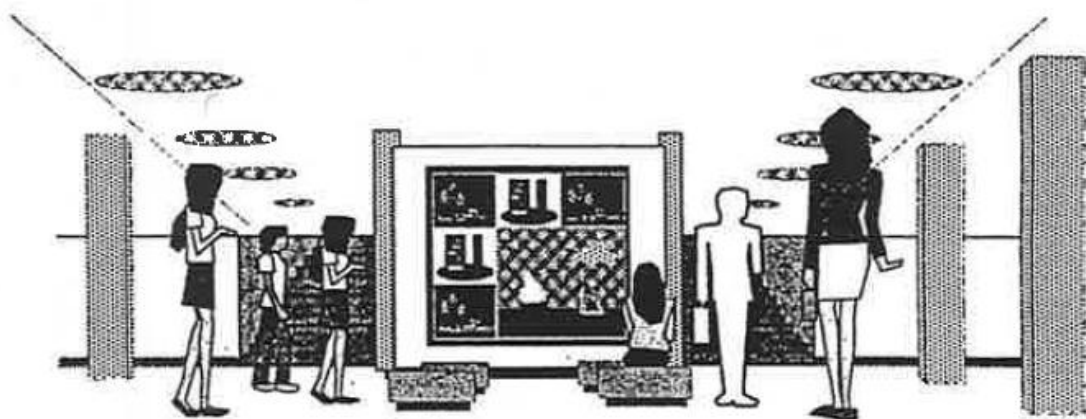
（2）3階 ホール

歓迎用パネル

玄関ホールに大型ディスプレイを設置し、事務所と見学者との連絡・館内施設案内・環境映像の上映を行う。

【運用】

- ・風除室及び玄関ホールに人感センサーを設け、見学者が入館したと同時に、玄関ホール床面に閃光するストロボライトを点滅させ、大型ディスプレイまで誘導する。
- ・大型ディスプレイでは、センサー感知により自動的に音声と映像による歓迎案内アナウンスを流す。また、大型ディスプレイの前面にタッチパネルを設け、入館者と事務所の連絡、館内案内映像等の選択を可能とする。
- ・入館者が館内案内映像用のボタンを押すことにより施設案内や清掃事業活動、環境映像等を選択し、上映可能とする。
- ・また、タイマー・センサーを組み合わせることにより、一定時間人がいなければ、映像を停止させる。



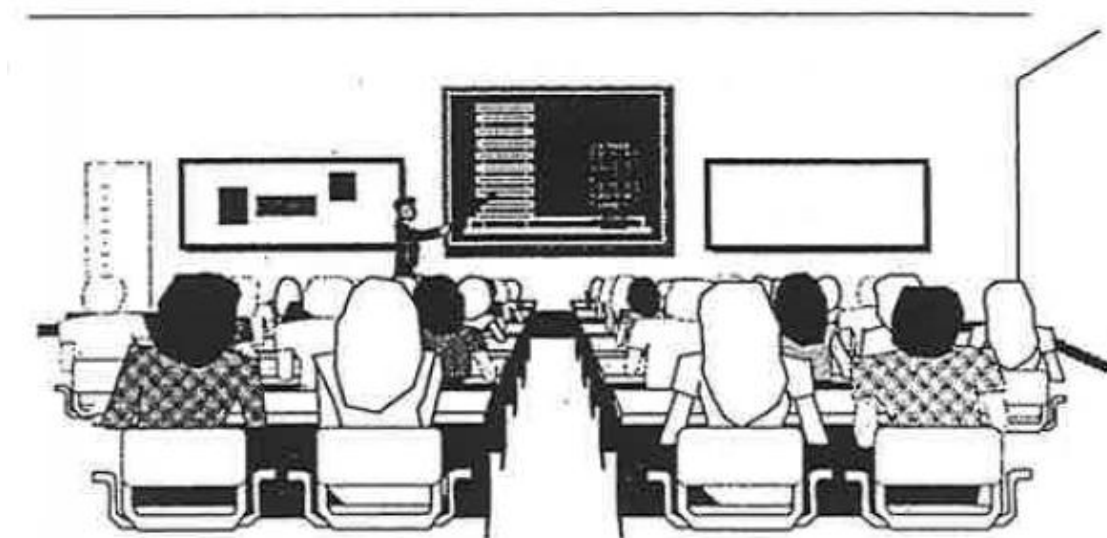
(3) 3階 見学者説明室

オリエンテーション AV

来場者に、見学時の注意事項・設備の概要・見どころ等を、解り易く表示する。また、他のイベントにも利用可能な設備とする。

【運用】

- ・高輝度プロジェクターを設置し、大型スクリーンに普通の映像のほかに立体映像を鑑賞可能とする。
- ・上映は、説明者が操作し易いタッチパネルとする。また、自動上映も可能とする。
- ・タッチパネルでは、照明及び電動ブラインド（建築工事）の制御も可能とする。



ミュージカルシアター

環境問題や施設の仕組みを大型スクリーンで、小学4年生を対象としたミュージカル仕立てのアニメーション映像により解り易く説明する。

(4) 2階 見学者ホール1

工場設備案内用 ビデオモニター

工場設備の案内を、壁面に設置したディスプレイにより、自動上映する。

【運用】

- ・説明者が、ボタンスイッチを押すことにより、または、人感センサーにより、壁面に設置したディスプレイに設備の案内を上映する。

パネル展示

見学者ルート壁面にパネル・ポスター等を展示する。

【運用】

- ・見学者が廊下を移動しながら、廊下壁面に展示した現北谷津清掃工場解体から新北谷津清掃工場建設までの時系列航空写真を見学できるようにする。

(5) 3階 見学者ホール2

工場設備案内用 ビデオモニター

工場設備の案内を、壁面に設置したディスプレイにより、自動上映する。

【運用】

- ・説明者が、ボタンスイッチを押すことにより、または、人感センサーにより、壁面に設置したディスプレイに設備の案内を上映する。

発電機室情報表示パネル

発電量、所内電力使用量、売電量等を壁面ディスプレイにリアルタイムに表示する。

固定パネル

壁面に、施設の説明用に固定パネルを設ける。

また、音声での説明も行い、4カ国語の選択を可能とする。

【運用】

- ・子供の利用を考慮しパネルの高さの調整やひらがなでの表示など工夫する。

見学者誘導

見学者の停滞を生じさせないよう、適切な誘導を行う。

【運用】

- ・人感センサーにより、天井面に設置するストロボライトを閃光させ、壁掛型スピーカーより、効果音を流し、見学者を誘導する。

(6) 3階 展示ホール

展示・学習機器等を設け、家庭ごみの分別方法、ごみ焼却の仕組み、市が行っている環境対策や資源循環型社会形成に向けての取組みを体感しながら学習できるものとする。

フロアビジョン

キャラクターが登場し、ごみピット容量やごみクレーンの働きを紹介する。



マジックビジョンシアター

施設模型の断面上にキャラクターが登場し、ごみ、灰、排ガス及び蒸気の流れを説明する。



アースビジョン

球形映像装置を使用し、地球の映像をベースにごみ問題の現状や将来図を、実写を交えて説明する。



設備の模型

展示ホールの壁面等にクレーンバケット実物大、ガス化溶融炉の模型を設置する。



見学者誘導

見学者の停滞を生じさせないように、適切な誘導を行う。

【運用】

- ・人感センサーにより、天井面に設置するストロボライトを閃光させ、壁掛型スピーカーより、効果音を流し、見学者を誘導する。

(7) 3階 見学者ホール3

工場設備案内用 ビデオモニター

工場設備の案内を、壁面に設置したディスプレイにより、自動上映する。

【運用】

- ・説明者が、ボタンスイッチを押すことにより、または、人感センサーにより、壁面に設置したディスプレイに設備の案内を上映する。ごみピット内のクレーンが、ごみを掴んだ重量値をリアルタイムに、ディスプレイのはめ込み画像にて表示する。

固定パネル

壁面に、施設の説明用に固定パネルを設ける。

また、音声での説明も行い、4カ国語の選択を可能とする。

【運用】

- ・子供の利用を考慮しパネルの高さの調整やひらがなでの表示など工夫する。

■可燃ごみ等月別搬入見込み量(災害除く)

	可燃ごみ (破碎可燃残渣含む)	破碎不燃残渣	他所灰	処理量
4月	10,501	193	1,281	11,975
5月	11,256	229	1,373	12,858
6月	10,623	189	1,296	12,108
7月	11,031	180	1,345	12,556
8月	10,612	183	1,294	12,089
9月	5,119	95	625	5,838
10月	10,774	228	1,314	12,316
11月	10,033	194	1,224	11,451
12月	11,253	274	1,373	12,900
1月	9,951	184	1,214	11,349
2月	13,556	282	1,653	15,490
3月	9,974	193	1,217	11,384
計	124,683	2,423	15,208	142,314

計画目標(平成38年度)における新清掃工場への想定搬入車両台数

項目	形式	台数 (台／年)	内訳(台／日)	
			大型	小型
ごみ搬入車両	－	79,429	259	－
家庭系ごみ搬入車両	パッカー車	48,427	159	－
事業系ごみ搬入車両	パッカー車	31,002	100	－
		台数 (台／年)	最大台数 (台／月)	最大台数 (台／日)
自己搬入車両		6820	747	78